

2025(令和7)年度

共 通 教 育
履 修 案 内

愛媛大学

はじめに

— 愛媛大学へご入学された皆さんへ歓迎のメッセージにかえて —

大学生活は、大きな学びの扉を開く、人生の新たなスタートラインです。

今日、世界は激動の時代を迎えています。気候変動、ICTの進歩、インクルージョンの実現、グローバル化など、私たちを取り巻く世界は日々刻々と変化しており、その歩みはとどまることを知りません。

では、この変わり続ける世界で生きていく皆さんにとって、必要な教養とは一体どんなものでしょうか？

愛媛大学には、自ら学び、考え、実践する能力をもつ人間性豊かな人材を育成するという教育目的があります。

学生の皆さんが自立した個人として生きていくために必要な知の基盤を培って頂きたいという願いから、大学教育の入口として教育課程の中に共通教育が設けられ、全学の教員参加のもと、皆さんの成長に寄与する教育カリキュラムの実現を目指し、日々授業を実施しています。

共通教育では、カリキュラムを通じて、まず皆さんに大学生としての学びの基盤づくりをしてもらいます。共通教育の学びの中で、自ら学び、考え、実践する能動的学習者となるための基礎的な体験を積み、さまざまな分野の知に触れ、豊かな人間性を培ってください。

この「共通教育履修案内」は、愛媛大学に入学された皆さんに、共通教育で「何をどのように学ぶか」を理解し、本学を卒業されるために必要となる共通教育の履修要件等を確認して頂くための指針として作成されたガイドブックです。各学部の履修の手引きと併せて卒業まで大切に保管し、ぜひ何度も見返してください。

皆さんがこれから充実した大学生活をスタートさせ、卒業時には悔いなく本学卒業生としての自信と誇りをもって巣立たれていくことを、心から願っています。

I. 主要なスケジュール	
1. 令和7年度 学年暦	4
2. 令和7年度 前学期の共通教育関係主要日程	4
3. 令和7年度 共通教育関係授業日程	5
II. 愛媛大学における学び	
1. 愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕	6
2. 愛媛大学憲章	9
3. 共通教育の目的と実施方針	10
III. 愛媛大学における学びのしくみ	
1. 大学の授業を学ぶための基本知識	11
2. 授業時間	11
3. 単位制度	11
4. 履修登録単位数の上限設定（CAP制）	12
5. 成績の評価	12
6. 全学共通 GPA について	13
(1) 全学共通 GPA 導入の目的	
(2) 全学共通 GPA（成績平均値）の計算式	
(3) 履修登録科目の取消について	
(4) GPA の確認方法	
7. 科目ナンバリング	14
8. 卒業の要件	14
IV. 共通教育の学び	
1. 科目の構成	15
2. 教育目標	15
(1) 基盤科目	
(2) 未来思考支援科目	
(3) 教養科目	
(4) 発展科目	
(5) 留学生対象科目	
V. 共通教育授業科目表	
1. 基盤科目	18
2. 未来思考支援科目	18
3. 教養科目	19
4. 発展科目	21
5. 留学生対象科目	21
VI. 学部ごとの履修単位表及び教育課程表	
「教育課程表」の見方	22
法文学部	23
教育学部	26
社会共創学部	28
理学部	30
医学部	32
工学部	35
農学部	37

VII. 履修登録手続等	
1. 履修登録の方法	39
2. 履修登録の時期	39
3. 履修登録の手順	39
4. 時間割表の見方	40
5. シラバスの見方	41
6. 履修のルール	42
(1) 履修上の注意事項	
(2) 教養科目	
(3) 発展科目	
(4) 留学生対象科目	
(5) 教育職員免許状を取得する場合に必要な科目	
VIII. 受講上の注意事項	
1. 授業に関する情報	48
(1) 修学支援システム	
(2) 共通教育関連ホームページ	
2. 授業の実施場所等	49
(1) 教室	
(2) 教室変更	
3. 休講・補講	49
(1) 通常の休講・補講	
(2) 気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて	
4. 授業の欠席	50
5. 試験及び成績	50
(1) 試験	
(2) 試験等における受験上の注意	
(3) 不正行為	
(4) レポートの提出	
(5) 追試験	
(6) 成績の通知	
(7) 成績確認申立	
6. 授業改善のためのアンケート	51
IX. 学びのサポート	
1. 教科書	52
(1) 購入方法	
(2) 活用方法	
2. ノートパソコンの活用	52
3. 大学内での自主的な学習	52
(1) 図書館を利用する	
(2) 総合情報メディアセンターを利用する	
(3) 共通講義棟A又は愛大ミュージズ内のラウンジを利用する	
4. 学習支援	53

【巻末資料】

1. 履修に関する相談窓口・講義棟案内	54
2. 教室等配置図	55
3. 規則一覧	57

I. 主要なスケジュール

令和7年度の大学の行事と共通教育関係の前学期の重要なスケジュールを示しています。
よく確認してください。

1 令和7年度 学年暦

事 項	日 程
学年始め・前学期開始	令和7年4月1日(火)
入学式	令和7年4月7日(月)
夏季休業	令和7年8月7日(木)～9月30日(火)
前学期終了	令和7年9月23日(火)
後学期開始	令和7年9月24日(水)
開学記念日	令和7年11月11日(火)
冬季休業	令和7年12月24日(水)～令和8年1月7日(水)
学位記授与式	令和8年3月24日(火)
学年終わり・後学期終了	令和8年3月31日(火)

2 令和7年度 前学期の共通教育関係主要日程

日 程		事 項
4月	2日(水)	学修スタートガイダンス・履修指導 (学部または学科で開催時間・場所が異なります。)
	7日(月)	受講定員超過科目の抽選【履修登録不可】
	8日(火)～15日(火)	抽選結果確認、履修登録の確認・修正【修学支援システム】
	9日(水)	前学期授業開始(第1クォーター授業開始)
5月下旬～6月上旬		期末試験(授業時間内で適宜実施) 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】
6月	10日(火)	第2クォーター授業開始
7月下旬～8月上旬		期末試験(授業時間内で適宜実施) 授業改善のための学生アンケート【修学支援システム】

【備考】

1. 後学期の授業開始は、10月1日を原則としますが、授業日数を確保するため曜日によっては9月最終週から授業を開始します。
2. 夏季休業及び冬季休業の期間中に集中講義、補講等の授業を行うことがあります。
3. 令和8年度以降の学年暦及び令和7年度後学期の主要日程については、愛媛大学ホームページ、修学支援システム等で確認してください。

3 令和7年度 共通教育関係授業日程

日		月		火		水		木		金		土		
4月	6	7	入学式 定員超過科目抽選	8	前学期開始 履修登録修正開始	9	① 学修スタートガイダンス 履修指導	10	①	11	①	12	①	
	13	14	①	15	① 履修登録修正終了	16	②	17	②	18	②	19	②	
	20	21	②	22	②	23	③	24	③	25	③	26	③	
	27	28	③	29	昭和の日	30	火曜 ③	1	④	2	④	3	憲法記念日	
	4	みどりの日	5	こどもの日	6	振替休日	7	④	8	⑤	9	火曜 ④	10	④
5月	11	12	④	13	⑤	14	⑤	15	⑥	16	⑤	17	⑤	
	18	19	⑤	20	⑥	21	⑥	22	⑦	23	⑥	24	⑥	
	25	26	⑥	27	⑦	28	⑦	29	⑧	30	⑦	31	⑦	
	1	2	⑦	3	⑧	4	⑧	5	補講日	6	⑧	7	⑧	
6月	8	9	履修登録修正開始	10	①	11	①	12	①	13	①	14	①	
	15	16	履修登録修正終了	17	②	18	②	19	②	20	②	21	②	
	22	23	②	24	③	25	③	26	③	27	③	28	③	
	29	30	③	1	④	2	④	3	④	4	④	5	④	
	6	7	④	8	⑤	9	⑤	10	⑤	11	⑤	12	⑤	
7月	13	14	⑤	15	⑥	16	⑥	17	⑥	18	⑥	19	⑥	
	20	21	海の日	22	月曜 ⑥	23	⑦	24	⑦	25	⑦	26	⑦	
	27	28	⑦	29	⑦	30	⑧	31	⑧	1	⑧	2	⑧	
	3	4	⑧	5	⑧	6	補講日	7	夏季休業開始	8		9		
8月	10	11	山の日	12		13		14		15		16		
	17	18		19		20		21		22		23		
	24	25		26		27		28		29		30		
	31	1		2		3		4		5		6		
	7	8		9		10		11		12		13		
9月	14	15	敬老の日	16	履修登録開始	17		18		19		20		
	21	22		23	秋分の日・前学期終了	24	後学期開始 定員超過科目抽選	25	履修登録修正開始	26		27	①	
	28	29	①	30	夏季休業終了	1	①	2	①	3	①	4	②	
10月	5	6	履修登録修正終了	7	②	8	②	9	②	10	②	11	③	
	12	13	スポーツの日	14	月曜 ③	15	③	16	③	17	③	18	④	
	19	20	④	21	③	22	④	23	④	24	④	25	⑤	
	26	27	⑤	28	④	29	⑤	30	⑤	31	⑤	1	⑥	
	2	3	文化の日	4	月曜 ⑥	5	⑥	6	⑥	7	学生祭	8	学生祭	
11月	9	学生祭	10	学生祭	11	⑤ 開学記念日	12	⑦	13	⑦	14	⑥	15	⑦
	16		17	⑦	18	⑥	19	⑧	20	⑧	21	⑦	22	特別入試(予定)
	23	勤労感謝の日・特別入試(予定)	24	振替休日	25	⑦	26	補講日	27	補講日	28	⑧	29	⑧
	30		1	⑧	2	履修登録修正開始	3	①	4	①	5	①	6	①
12月	7	8	①	9	履修登録修正終了	10	②	11	②	12	②	13	②	
	14	15	②	16	②	17	③	18	③	19	③	20	③	
	21	22	③	23	③	24	④ 冬季休業開始	25		26		27		
	28	29		30		31		1		2		3		
1月	4	5		6		7	④ 冬季休業終了	8	④	9	④	10	④	
	11	12	成人の日	13	④	14	⑤	15	月曜 ④	16	試験準備	17	共通テスト	
	18	共通テスト	19	⑤	20	⑤	21	⑥	22	⑤	23	⑤	24	⑤
	25		26	⑥	27	⑥	28	⑦	29	⑥	30	⑥	31	⑥
2月	1	2	⑦	3	⑦	4	⑧	5	⑦	6	⑦	7	⑦	
	8	9	⑧	10	⑧	11	⑧ 建国記念の日	12	⑧	13	⑧	14	⑧	
	15	16	補講日	17	補講日	18		19		20		21		
3月	22	23	天皇誕生日	24		25		26		27		28		
	1	2		3		4		5		6		7		
	8	9		10		11		12		13		14		
	15	16		17		18		19		20	春分の日	21		
	22	23		24	学位記授与式	25		26		27		28		
29	30		31	後学期終了										

- 備考
1. セメスター制授業の場合、第1・第2クォーター、第3・第4クォーターで①～⑩とする。
 2. 夏季休業期間中(8/7～9/30)の9月27日(土)、9月29日(月)、9月30日(火)は、授業を実施する。
 3. 冬季休業期間中(12/24～1/7)の12月24日(水)は、授業を実施する。
 4. 4月30日(水)の授業は、第1クォーター火曜3回目の授業を実施する。
 5. 5月9日(金)の授業は、第1クォーター火曜4回目の授業を実施する。
 6. 7月22日(火)の授業は、第2クォーター月曜6回目の授業を実施する。
 7. 10月14日(火)の授業は、第3クォーター月曜3回目の授業を実施する。
 8. 11月4日(火)の授業は、第3クォーター月曜6回目の授業を実施する。
 9. 1月15日(木)の授業は、第4クォーター月曜4回目の授業を実施する。

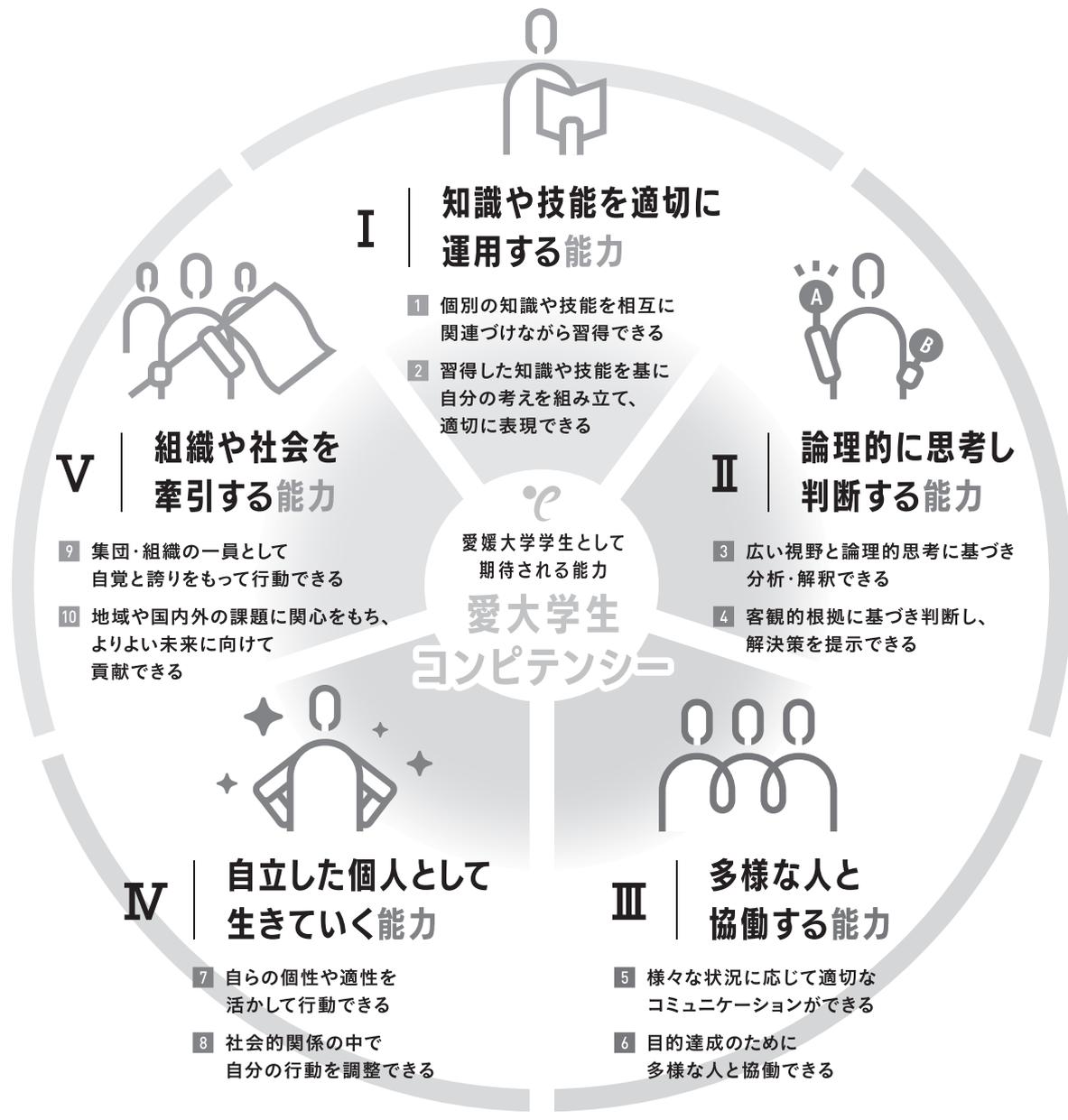
Ⅱ. 愛媛大学における学び

1 愛媛大学学生として期待される能力〔愛大学生コンピテンシー〕

愛媛大学学生として期待される能力 / 愛大学生コンピテンシー

愛大学生コンピテンシー（2012年7月策定）は、愛媛大学憲章にもとづき、
すべての学部の学生が卒業時に身につけていることが期待される能力を示すもので、
愛媛大学全体の教育目標と位置づけることができます。

学生のみなさんは、正課教育、準正課教育、正課外活動を通じてこれらの能力を身につけることができます。
専門分野の知識に加えて、愛大学生コンピテンシーで示された幅広い能力を習得することで、
みなさんが今後の未来を切り拓いていくことを願っています。





愛媛大学学生として期待される能力 / 愛大学生コンピテンシー

I

知識や技能を適切に運用する能力



1

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる

授業などを通じて得た知識や技能を相互に関連づけて、状況に応じて使いこなせるようにすることが求められます。実験や実習、調査や観察、文献講読などを単に断片的に行うだけでは、本当の意味で知識や技能を獲得したことにはなりません。学んだことを自分の中で相互に関連づけ、可能な限り体系化することによって初めて、それらを習得したと言えます。

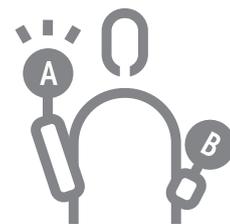
2

習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現できる

習得した知識や技能が本当の意味で自分のものとなったと言えるのは、それを自分の中できちんと体系化し、適切に表現できるようになった時です。わかっているけれども表現できないのでは、本当の意味でわかったとは言えません。自分が得た知識を基に、論理的な筋道を立てて、相手が理解しやすい適切な方法で表現する力が求められます。この力を身につけることができ、自分の学習の成果が統合されたと言えます。

II

論理的に思考し判断する能力



3

広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる

例：クリティカル・シンキング / 創造的思考

様々な情報を収集・整理し、それを相互に関連づけ、広い視野から論理的に考えて、対象を分析・解釈します。この力は知識や技能の運用と一体化して動くものです。例えばクリティカル・シンキングとは、既存の学問的知識の体系や枠組みも考慮しながら、客観的根拠に基づいて対象を多面的に考察し、論理的に思考することです。こうした力を身につけることによって、他者を受容させることができるようになります。

4

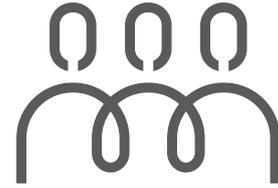
客観的根拠に基づき判断し、解決策を提示できる

例：意思決定・判断力 / 課題発見・解決力

学問研究においてはもちろんのこと、社会生活においても、私たちは常に意思決定を求められ、判断力を発揮しなければなりません。そして、自立した個人として生きるためには、意思決定の根拠をきちんと認識し、客観的に正当なものであることを示すことが求められます。そのためには、自分の置かれている状況を正しく認識し、そこにある課題を見つけ出し、その課題を解決する方策を考え出す力が必要です。

Ⅲ

多様な人と 協働する能力



5

様々な状況に応じて適切な
コミュニケーションができる

例：傾聴／対話／ディスカッション／プレゼンテーション

現代社会において、様々な背景を持った人々が、チームを組んで課題に取り組むということは日常化・一般化してきています。そうした状況に柔軟に対応するためにも、正確な日本語運用能力や外国語運用能力、ビジネス・マナーといった狭義のコミュニケーション・スキルの獲得のみならず、相手の意図を適切に汲み取りながら自分の考えも効果的に伝えていく力が求められています。

6

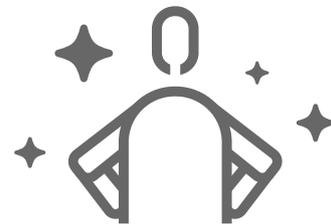
目的達成のために
多様な人と協働できる

例：協調性／多様性の尊重／ホスピタリティ

大きな目的を達成するためには、多くの人と互いに協力し合って、協調していく必要があります。実際に多様なメンバーでチームを編成し様々な活動を行うなかで、それぞれがもつ個人の多様性に気づき、それを受容し、理解するという経験を数多く重ねることが必要です。協働のためには、他者の幸せのために行動できる「お接待」の心と実践力を身につけることが求められます。

Ⅳ

自立した個人として 生きていく能力



7

自らの個性や適性を
活かして行動できる

例：自己理解／自己決断／自己省察／生涯学び続ける姿勢

個々人が自己を実現するためには、社会的状況の中で、自分自身の個性や適性を十分に理解し、それを踏まえて決断することが大切です。そのために重要な営みが振り返りです。自身の経験や学んだことを振り返ることで、深い自己理解が促され、そこを核としながら主体的に行動していくことが可能になります。また、振り返りは継続的に行い、生涯にわたって学び続ける姿勢を身につけることが期待されます。

8

社会的関係の中で
自分の行動を調整できる

例：規範遵守／セルフマネジメント／レジリエンス

人は社会的存在であり、社会（他者）との関係の中で自分の能力を最大限に発揮していかなければなりません。社会には様々なルールや制約があり、自分が所属する組織や集団においても同様です。限られた資源や制約の中で、所属組織のルールを遵守・順応し、自分の行動を調整していくことが求められます。また、困難な状況に適切に対処できる力も予測困難な社会においてより重要となっていきます。

Ⅴ

組織や社会を 牽引する能力



9

集団・組織の一員として
自覚と誇りをもって行動できる

例：責任感／連帯感／帰属意識／リーダーシップ

集団や組織は、構成員それぞれが責任と自覚を持って行動し、役割を果たすことによって初めて機能します。根拠に基づき状況を把握し、他者との対話や協働を行いながら、課題を見極め、解決策を考え、行動に移していきます。そのことによって、所属している集団や組織をよりよいものにしていくことができます。その結果として、自分が所属している社会や組織、そこに所属している自分自身に対して誇りを持てるようになります。

10

地域や国内外の課題に関心をもち、
よりよい未来に向けて貢献できる

例：未来思考／国際性／社会貢献／アントレプレナーシップ

地域や国内外には様々な課題があります。まず大切なのは、そのような課題に目をそらさず向き合う姿勢です。そして、よりよい未来に向けて、広い視野のもと、社会や環境について考え、自分なりにできる最善を尽くすことが期待されます。未来の社会をつくっていく担い手の一人としての思考や行動が求められています。

2 愛媛大学憲章



— 愛媛大学憲章 —

愛媛大学は、自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ人間性豊かな人材を社会に輩出することを最大の使命とする。とりわけ、国際化の加速する時代において地域に立脚する大学として、地域の発展を牽引する人材、グローバルな視野で社会に貢献する人材の養成が主要な責務であると自覚する。愛媛大学は、相互に尊重し啓発しあう人間関係を基調として、「学生中心の大学」「地域とともに輝く大学」「世界とつながる大学」を創造することを基本理念とする。

教 育

- 1) 愛媛大学は、正課教育、準正課教育、正課外活動を通して、知識や技能を適切に運用する能力、論理的に思考し判断する能力、多様な人とコミュニケーションする能力、自立した個人として生きていく能力、組織や社会の一員として生きていく能力を育成する。
- 2) 大学院においては、人間・社会・自然への深い洞察に基づく総合的判断力と専門分野の高度な学識・技能を育成する。
- 3) 愛媛大学は、国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に通用する人材育成のための教育環境を提供する。
- 4) 愛媛大学は、入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができるよう学生を支援し、主体的な学びを保証する。

研 究

- 5) 愛媛大学は、基礎科学の推進と応用科学の展開を図り、知の継承・創造・統合に向けた学術研究を実践する。
- 6) 愛媛大学は、学生と教員がともに学ぶ喜び・発見する喜びを分かち合い、研究と人材育成を一体的に推進する知の共同体を構築する。
- 7) 愛媛大学は、先見性や独創性のある研究グループを拠点化して支援し、地域課題から世界最先端課題にわたる多様な研究を推進する。

社会貢献

- 8) 愛媛大学は、産業、文化、医療等の幅広い分野において最高水準の知識と技術を地域社会・国際社会に提供し、社会の持続可能な発展に貢献する。
- 9) 愛媛大学は、地域と連携した教育・研究を通じて有為な人材を輩出するとともに、社会の諸課題の解決に向けて人々とともに考え、行動する。

大学運営

- 10) 愛媛大学は、構成員相互の尊重を基盤とした知的な交流を学内のあらゆる場において保証する。
- 11) 愛媛大学は、教職員の自発的・主体的活動を尊重し、教職協働による円滑な大学運営を行う。
- 12) 愛媛大学は、大学の特性と現状の批判的分析とに基づいて明確な目標・計画を定め、機動的で戦略的な大学経営を行う。

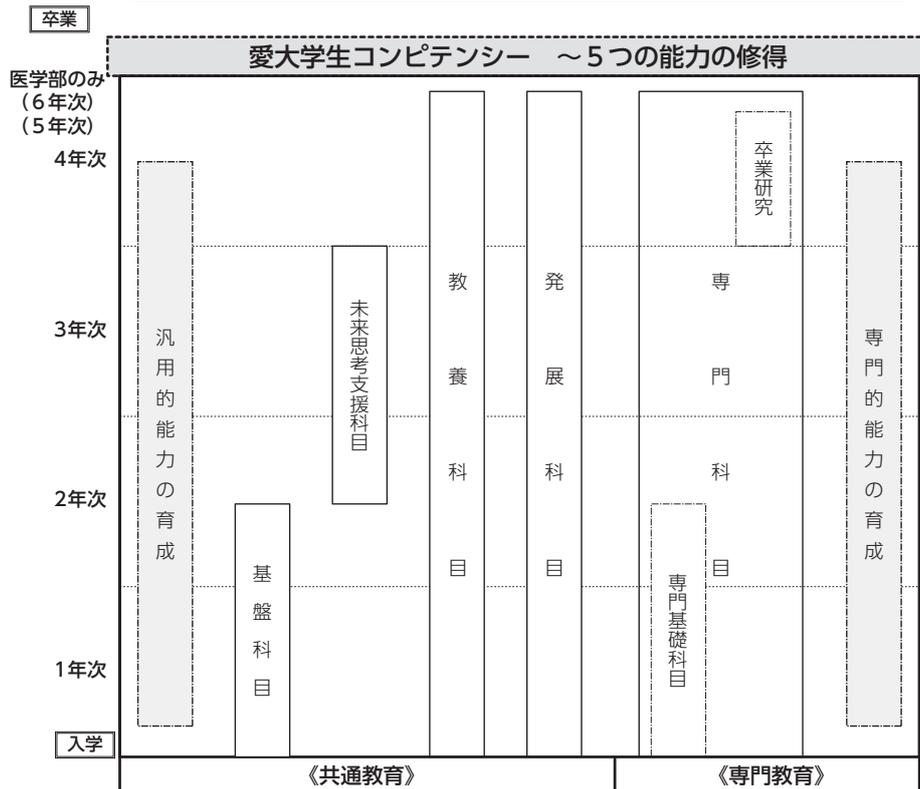
3 共通教育の目的と実施方針

愛媛大学の共通教育は、愛媛大学憲章に謳われている理念にもとづき、学生が自ら学び、考え、実践する能力を身につけられるようにすることを目的としている。特に、総合大学としての利点を活かし、学生が様々な学問領域を学修することを通して、愛大学生コンピテンシーで示されている5つの能力を獲得できるように支援することをその方針としている。

共通教育科目と関連する愛大学生コンピテンシーの基礎力 ～自ら学び、考え、実践する能力の育成～

愛 大 学 生 コ ン ピ テ ン シ ー									
I		II		III		IV		V	
知識や技能を適切に運用する能力		論理的に思考し判断する能力		多様な人と協働する能力		自立した個人として生きていく能力		組織や社会を牽引する能力	
①個別の知識・技能の関連づけ	②自己の構築と適切な表現	③広い視野と論理的思考に基づく分析・解釈	④客観的根拠に基づく判断・解決策の提示	⑤状況に応じた適切なコミュニケーション	⑥目的達成のための多様な人との協働	⑦個性や適性を活かす行動	⑧社会的関係の中での行動	⑨集団・組織の一員としての自覚と誇り	⑩よりよい未来へ向けての貢献
新入生セミナー				新入生セミナー					
こころと健康				スポーツ		こころと健康			
情報リテラシー入門Ⅰ	情報リテラシー入門Ⅱ			情報リテラシー入門Ⅰ	情報リテラシー入門Ⅰ				
English Foundation				English Foundation					
English Communication Strategies				English Communication Strategies					
知的財産入門		知的財産入門		社会力入門		知的財産入門		社会力入門	
		Beyond SDGs		未来思考リテラシー				未来思考リテラシー	
								Beyond SDGs	
教 養 科 目 / 発 展 科 目									

愛媛大学における学びの流れ



Ⅲ. 愛媛大学における学びのしくみ

1 大学の授業を学ぶための基本知識

- (1) 学 期：本学は、1年間（学年）を前学期と後学期の2つの学期に分けています。
さらに、共通教育では、前学期を第1、第2クォーター、後学期を第3、第4クォーターにそれぞれ2つに分けています。
- (2) 履 修：ある授業科目を大学が定めた教育課程に従って学修することで、自らが受けた授業の登録を行い、所定の時間数の授業を受け、試験等に合格すれば単位を修得できます。この一連の流れを履修といいます。
- (3) 履修登録：その年度（学期）に履修しようとする科目の授業を受けるための手続きのことです。
- (4) 単 位：授業科目の学修を数量的に表すものです。授業科目には学修時間に応じた単位数が定められています。
- (5) シラバス：授業計画を表し、授業担当教員、授業の概要、各回の授業の計画等が記載されています。授業科目を履修するには、シラバスを参照し、授業内容を確認してください。

2 授業時間

本学における授業時間は90分を1時限として、次の時限と時間で授業を実施しています。

【月～金曜日】

時限	1	2	3	4	5
時間	8:30～10:00	10:20～11:50	12:40～14:10	14:30～16:00	16:20～17:50

※医学部の授業時間帯は、学部の手引きに従ってください。

法文学部夜間主コース時間帯

【月～金曜日】

時限	6	7
時間	18:00～19:30	19:40～21:10

【土曜日】

時限	1	2	3
時間	13:30～15:00	15:10～16:40	16:50～18:20

共通教育には、上記の他にR時限という時間割枠があります。R時限とは、時間帯は指定せず、曜日のみを指定する時間割枠で、主にメディア授業科目が開講されます。

3 単位制度

大学の単位を修得するためには、授業を受講する以外に、教室外での自学自習（予習、復習、その他の課題、教育体験やボランティア活動など）を併せて行い、受け身でない主体的な学習を行うことが求められています。

制度上のルールでは、1単位は教室での授業と教室外での自学自習を合わせ、45時間の学習を必要とすることが標準とされています。このため、1単位の授業科目で、1学期間に週1回合計15回の授業がある場合には、教室での授業を含め、週3時間の学習が必要になります。

例えば、1人の学生が1週間で学習できる時間を72時間（日曜日以外、毎日12時間学習すると仮定）としても、1学期間に履修できる単位数は24単位、2単位の授業科目であれば12科目分が履修の限度になります。これより多い授業科目を履修しようとするれば、授業の予習・復習などが十分にできなくなり、学習内容を身に付けることができない恐れがあります。このことを防止し、履修登録した授業科目をそれぞれ十分に学習することができるよう、1学期間中に履修登録できる単位数には制限があります。

予習や復習の他にも、図書館で参考文献を閲覧したり、各種の体験活動に参加して知識・技能を高めたり、教員や先輩と話をするなど大学生活ではぜひ自分なりのテーマを発見して解決する、学ぶことの楽しさを感じてください。

4 履修登録単位数の上限設定（CAP制）

愛媛大学では、学生の履修登録単位数の上限を設け、1学期間に履修登録できる単位数が制限されていますので、注意してください。これは、一つ一つの授業科目をそれぞれ十分に学習してもらうための措置です。

また、所定の単位を優れた成績により修得した学生については、学期毎に所定の手続きを経て認定を受けることで、履修登録単位数の上限を超えて登録を行うことができます。

CAP制の詳細については、所属の学部の学務チーム窓口又は所属の学部の履修案内等で確認してください。

5 成績の評価

(1) 学業成績の評価は、試験及び平素の成績を総合して判定します。

試験は、筆記、レポート、口述、実演・実技試験等により実施します。平素の成績は、研究報告、随時行う小テスト、学習状況等により判定します。学業成績の判定については、授業科目ごとに、シラバスの「成績評価方法」の項目に記載されていますので参考にしてください。

(2) 成績は、100点満点で評価され、点数により次のような「評語」が与えられます。

60点以上の評点を得た科目は、合格となり、所定の単位を修得できます。

なお、開講時数の3分の2以上の出席をしていない場合は、「評価しない」として成績の判定が行われず、単位は認定されません。

評語	評点	基準
秀	90～100点	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している。
優	80～89点	授業科目の到達目標を高い水準で達成している。
良	70～79点	授業科目の到達目標を標準的な水準で達成している。
可	60～69点	授業科目の到達目標を最低限の水準で達成している。
不可	60点未満	授業科目の到達目標を達成していない。
評価しない	出席不足など評価基準に達しない	授業科目の到達目標を達成していない。

6 全学共通GPAについて

(1) 全学共通 GPA 導入の目的

学生自身による学習プロセス及び達成状況の自己管理に役立てるとともに、教員による学生の学修状況の把握及びきめ細やかな指導・助言を行うために全学共通 GPA を導入します。

(2) 全学共通 GPA (成績平均値) の計算式

$$\text{GPA} = \frac{4 \times \text{「秀」の単位数} + 3 \times \text{「優」の単位数} + 2 \times \text{「良」の単位数} + 1 \times \text{「可」の単位数} + 0 \times \text{「不可」・「評価しない」の単位数}}{\text{総履修登録単位数 (「不可」・「評価しない」を含む)}}$$

※ 共通教育科目及び専門教育科目の全ての科目が対象となります。ただし、「認定」、「合格」で評価された科目及び履修登録科目の取消 (以下 (3) を参照) を行った科目は計算式に入りません。

【GP (grade point) と成績評価点】

GP	評 語	点 数 等
4	秀	90~100点
3	優	80~89点
2	良	70~79点
1	可	60~69点
0	不可	60点未満
0	評価しない	出席不足など評価基準に達しない

(3) 履修登録科目の取消について

履修登録確認・修正期間を過ぎても、**※取消期間**中であれば履修登録科目を取消することができます。履修登録科目取消願を共通教育チームへ提出し、取消しの手続きを行ってください。

※取消期間中に取消さなかった科目は成績評価の対象科目となり、GPA の計算式に入ります。ただし、病気・けがによってそれ以降履修を取りやめる場合は、取消しできる場合がありますので、共通教育チームにお問い合わせください。なお、履修登録後、休学・退学した場合及び除籍された場合は、取消期間に関わらず履修登録科目は自動的に取消されます。

履修登録は、学生生活担当教員 (指導教員) の履修指導を受け、履修計画を立ててから行ってください。

※取消期間

各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は6回目の授業が始まるまで、8回の場合は4回目の授業が始まるまで、それ以外の場合は開講回数に3分の1を乗じて得られた数 (小数点以下切り上げ) に1を加えた回数の授業が始まるまでとなります。ただし、既に欠席が開講回数の3分の1を超えている場合の取消は認められません。

(4) GPA の確認方法

修学支援システムの「個別成績表」及び「成績集計値・GPA」に、通算 GPA、GPT (GP の合計)、学期 GPA、GPT が表示されます。

7 科目ナンバリング

大学で開講している授業の水準や授業内容などを授業科目毎に特定の記号や数字を付与し、カリキュラムの体系性(科目群の構成や科目間の順次性)をわかりやすく示したものです。学生のみなさんにとっては、科目ナンバリングを教育課程表やシラバスで確認することで、授業の登録や履修を主体的かつ計画的に進めるための一助となります。

(例) 共通教育基盤科目『こころと健康』 GnE1G-0BAS-002

GnE + 1 + G - 0 + BAS - 002
【1】 【2】 【3】 【4】 【5】 【6】

共通教育科目のナンバリングのルール

- | | | |
|--------------------|-------------------------------|--|
| 【1】 開講学部学科 | | |
| 共通教育 | GnE | |
| 【2】 学年レベル | 1, 2, 3, 4 | |
| 【3】 科目区分 (大科目群に分類) | | |
| 基盤科目 | G | |
| 未来思考支援科目 | F | |
| 教養科目 | C | |
| 発展科目 | D | |
| 留学生対象科目 | E | |
| 【4】 分野大分類 | 0 (その他) | |
| 【5】 科目分類 (科目群に分類) | | |
| 基盤科目 | | |
| 英語 (科目群) | ENG (English) | |
| 数学 (科目群) | MTH (mathematics) | |
| その他 | BAS (basic) | |
| 未来思考支援科目 | F T S (Futures Thinking) | |
| 教養科目 | | |
| 愛大スタンダード科目 | STD (Standard) | |
| 愛大プライム科目 | P R I (Prime) | |
| 課題発見基礎セミナー | SEM (Seminar) | |
| 大学間連携科目 | A L I (Alliance) | |
| 初修外国語 | F R L (foreign language) | |
| 教員免許に関する科目 | TCH (teacher's license) | |
| 発展科目 | X T N (extension) | |
| 留学生対象科目 | I N S (international student) | |
| 【6】 科目番号 | 科目ごとに付番 | |

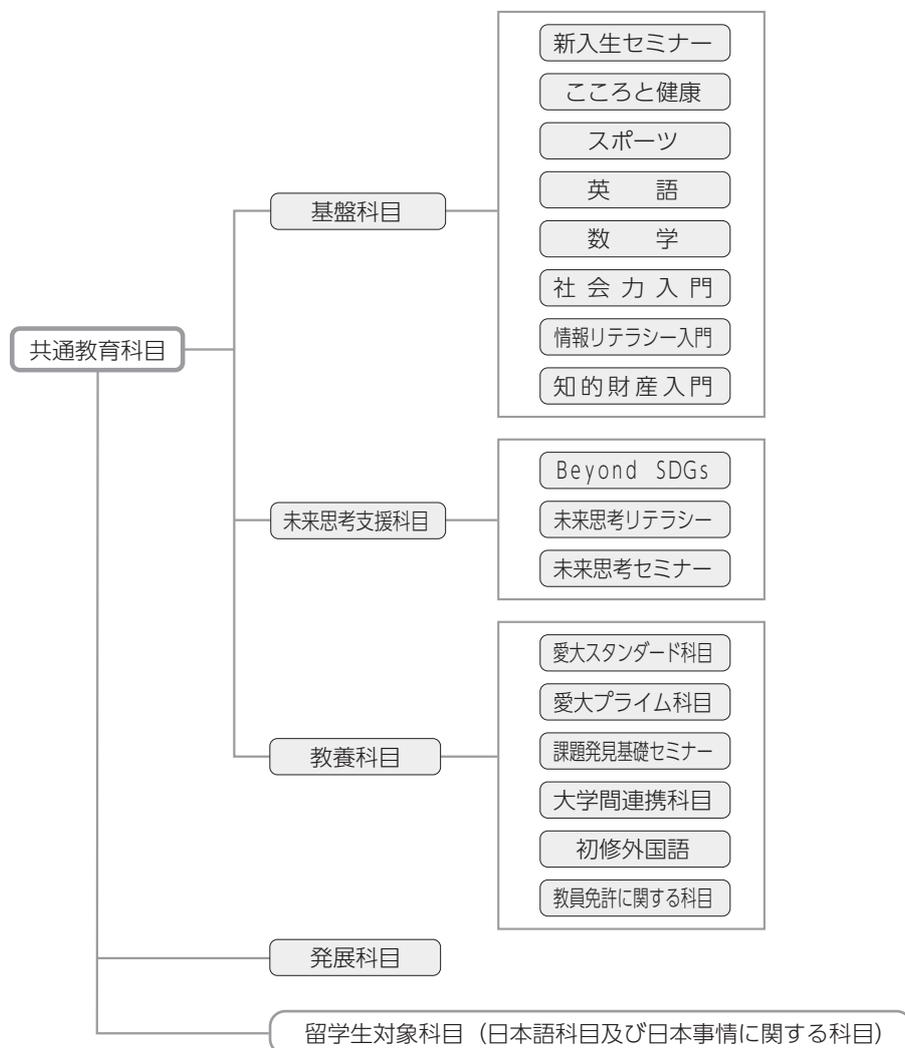
8 卒業の要件

所属する学部が定めた所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した場合は、卒業が認定されます。また、学部によって、GPAの基準を満たすことが卒業の要件に加えられることがあります。P23以降に記載している学部ごとの「履修単位表」及び「教育課程表」を確認のうえ、所属の学部の履修案内等に従ってください。

IV. 共通教育の学び

1 科目の構成

共通教育の教育課程は、下図に示す科目群、科目区分で構成されています。
それぞれの科目区分ごとに、P18以降に記載されている授業科目が開講されます。



2 教育目標

(1) 基盤科目

新生者が、健康で充実した学生生活を送るための知識や能力（ライフ・スキル）、大学における効果的な学修方法（スタディ・スキル）を獲得し、学修全般の基盤となる知識や能力を身に付けるための科目です。

新生者セミナー

新生者が大学での学びに必要な知識や能力を身に付け、主体的に学習を進められるよう支援することを目的とした科目です。

こころと健康

大学に入学した皆さんが、心身の健康のあり方について学ぶことにより、健全な学生生活を継続的に送ることを目的とした科目です。

スポーツ

生涯にわたって心身ともに健やかな生活を送るために必要な知識及び技能の習得を目的とした科目です。

英語

共通教育における英語は、高校までに学んできた英語の知識の定着と維持の他、専門教育において必要不可欠な英語力及び世界で活躍するために必要なグローバルコミュニケーション力の養成に重点を置いています。

数学

高校で学習した数学を基礎として、理系学部における専門科目を学習する際に必要となる「微積分」、「線形代数」等を学ぶための科目です。

社会力入門

人生の新しい段階（社会）へと移行する若者の成長を支えるキャリア教育科目です。社会を形成し、維持していくために必要不可欠な資質・能力について学び、生涯を通じた持続的な就業力の育成や豊かな人間形成と人生設計について考えます。

情報リテラシー入門

ネットワークの安全性や仕組みを理解した上で、コンピュータを用いてデータをどのように取得し利用するのかを数理・データサイエンス及びAIの重要性と共に理解し、データ駆動型の社会に対応する能力を養成します。

知的財産入門

知的財産の全体概要を理解するとともに、レポートや論文作成時に必要とする知的財産の知識など、身近な事例をテーマにして、概念の理解や初歩的な知的財産対応力を養成します。

(2) 未来思考支援科目

変化の時代を生き抜き、世界的課題を理解して地域や国内外に生じる未来に向けた課題解決に貢献できる人材となるための基礎的知識と思考力を身に付けるための科目です。

Beyond SDGs

いまなぜSDGsの達成が求められているのかについてその全体像を探るとともに、SDGsの17の目標と169のターゲットについての理解を深めます。

その上で、Beyond SDGs時代における地球のあるべき姿を追い求めるべく、現代社会が抱える課題がSDGsとどう関連するのか、そしてその克服の仕方について学びます。

未来思考リテラシー

これからの社会の担い手として、未来を予測し、変化する世界の中で他者と協働しながら、課題の解決や新しい価値の創造を行うための知識や姿勢について学びます。

地域社会や地球環境など俯瞰した視野から未来を捉えることを目指します。

未来思考セミナー

「Beyond SDGs」「未来思考リテラシー」で学んだことを踏まえて、未来社会について予測したり展望を描いたりする対面によるゼミナール形式の授業です。さまざまなトピックについて未来思考の実践を行うことを目指します。

(3) 教養科目

基本的なものの見方や知識を幅広く理解するとともに、主体的な学びを通して汎用的能力を育成し、良識ある社会人として求められる豊かな人間性を養うための科目です。

愛大スタンダード科目

愛媛大学生として豊かな教養を身に付けるため、所属の学部の専門分野にとらわれず、様々な学問領域の概要や基本知識を幅広く理解することを目指す科目です。

愛大プライム科目

「輝く個性で 地域を動かし世界とつながる大学」のスローガンのもと、特色のある教育プログラムが提供される科目です。学内外での演習や宿泊を伴う研修などにも積極的に取り組み、愛媛大学ならではの学びに触れることを目的とします。

課題発見基礎セミナー

授業で解説された主題を基に、受講生が自ら課題（問い）をみつけ、授業内外における情報の収集や分析をとおして、主体的に探究学習を行うことを目的とする科目です。能動的な学修の姿勢が求められます。

大学間連携科目

他大学と協力し、多岐に渡る分野の授業が実施される科目です。大学コンソーシアムえひめ参加大学によるオムニバス形式の集中講義や、四国5大学連携共同実施による「知プラe科目」が開講されます。愛媛大学以外の大学教員からも、様々な学びを得てください。

初修外国語

「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」とこれまで学ぶ機会がほとんどなかった英語以外の外国語を学ぶための科目です。1年間を通して同一言語4単位を修得することを目指します。

教員免許に関する科目

「教職日本国憲法」及び「スポーツと教育」の2つの授業科目があります。教育職員免許状の取得を目指す学生以外は履修できません。詳細はP44に記載している履修条件を確認してください。

(4) 発展科目

本学独自の資格取得を目的とする科目や全学的な副専攻的科目として、開設された科目です。発展科目には、「愛媛の食と農の持続可能性に関する科目」、「SUIJI サーバント・リーダー養成に関する科目」、「環境ESD指導者養成に関する科目」、「愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目」、「スキルアップ科目」があります。

(5) 留学生対象科目

留学生の皆さんが日本での生活や学習に対応できるように、基礎レベルの日本語、日本の文化や伝統、日本社会の現実等について学びます。

V. 共通教育授業科目表

「共通教育授業科目表」は、共通教育で開講される全ての授業科目を科目区分ごとに示した一覧表です。

【重複履修について】

下記共通教育授業科目表の「重複履修」欄に記載の記号は、それぞれ次の意味を表します。

「×」…… 重複履修ができない科目

「●」…… 重複履修ができ、単位を修得できる科目

「▲」…… 同一科目名でも、担当教員が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

「■」…… 同一科目名でも、授業題目が異なれば、重複履修ができ、単位を修得できる科目

【科目ナンバリングについて】

科目ナンバリング中の「*」は学年レベルを表します。それぞれの開講科目の学年レベルはシラバスで確認してください。

1 基盤科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
新入生セミナー	新入生セミナー	2	×		GnE*G-0BAS-001
こころと健康	こころと健康	1	×		GnE*G-0BAS-002
スポーツ	スポーツ	1	×		GnE*G-0BAS-003
英語	English Foundation	1	×		GnE*G-0ENG-001
	English Communication Strategies	2	×		GnE*G-0ENG-002
数学	微積分	2	×	注) 理学部	GnE*G-0MTH-001
	線形代数 I	2	×	注) 工学部	GnE*G-0MTH-002
	線形代数 II	2	×	注) 工学部	GnE*G-0MTH-003
	微積分 I	4	×	注) 工学部	GnE*G-0MTH-004
	微積分 II	2	×	注) 工学部	GnE*G-0MTH-005
	解析学入門	2	×	注) 農学部	GnE*G-0MTH-006
社会力入門	社会力入門	1	×		GnE*G-0BAS-004
情報リテラシー入門	情報リテラシー入門 I	1	×		GnE*G-0BAS-005
	情報リテラシー入門 II	1	×		GnE*G-0BAS-006
知的財産入門	知的財産入門	1	×		GnE*G-0BAS-007

注：原則として備考欄に記載のある学部以外の学生は履修できません。

2 未来思考支援科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
Beyond SDGs	Beyond SDGs	1	×		GnE*F-0FTS-001
未来思考リテラシー	未来思考リテラシー	1	×		GnE*F-0FTS-002
未来思考セミナー	未来思考セミナー	1	▲	注	GnE*F-0FTS-003

注：修得した単位は、愛大スタンダード科目で必要とされる3単位を除く教養科目の単位として卒業要件に算入することができます。

3 教養科目

愛大スタンダード科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
自然	自然法則の探究	1	▲		GnE*C-0STD-001
	宇宙・地球のすがた	1	▲		GnE*C-0STD-002
	物質の構造と変化	1	▲		GnE*C-0STD-003
技術	技術の力	1	▲		GnE*C-0STD-004
	科学技術と人間	1	▲		GnE*C-0STD-005
	データリテラシー入門	1	▲		GnE*C-0STD-006
生命	生命と物質	1	▲		GnE*C-0STD-007
	生命の営み	1	▲		GnE*C-0STD-008
	生命を守る	1	▲		GnE*C-0STD-009
人間	多様性と共生	1	▲		GnE*C-0STD-010
	ことばの力	1	▲		GnE*C-0STD-011
	文化・芸術を読み解く	1	▲		GnE*C-0STD-012
制度	ビジネスリサーチ	1	▲		GnE*C-0STD-013
	政治・経済の考え方	1	▲		GnE*C-0STD-014
	なぜ法を知るべきか	1	▲		GnE*C-0STD-015
社会	歴史からの問い	1	▲		GnE*C-0STD-016
	地理から見た世界	1	▲		GnE*C-0STD-017
	環境と社会	1	▲		GnE*C-0STD-018

愛大プライム科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
	愛大プライム科目	1	■		GnE*C-0PRI-001
	愛大プライム科目	2	■		GnE*C-0PRI-002

課題発見基礎セミナー

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
	課題発見基礎セミナー	1	▲		GnE*C-0SEM-001
	課題発見基礎セミナー	2	▲		GnE*C-0SEM-002

大学間連携科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
	大学間連携科目	1	■		GnE*C-0ALI-001
	大学間連携科目	2	■		GnE*C-0ALI-002

初修外国語

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科 目 ナ ン バ リ ン グ
	初級ドイツ語Ⅰ	1	×	注	GnE*C-0FRL-001
	初級ドイツ語Ⅱ	1	×	注	GnE*C-0FRL-002
	初級ドイツ語Ⅲ	1	×	注	GnE*C-0FRL-003
	初級ドイツ語Ⅳ	1	×	注	GnE*C-0FRL-004
	初級フランス語Ⅰ	1	×	注	GnE*C-0FRL-005
	初級フランス語Ⅱ	1	×	注	GnE*C-0FRL-006
	初級フランス語Ⅲ	1	×	注	GnE*C-0FRL-007
	初級フランス語Ⅳ	1	×	注	GnE*C-0FRL-008
	初級中国語Ⅰ	1	×	注	GnE*C-0FRL-009
	初級中国語Ⅱ	1	×	注	GnE*C-0FRL-010
	初級中国語Ⅲ	1	×	注	GnE*C-0FRL-011
	初級中国語Ⅳ	1	×	注	GnE*C-0FRL-012
	初級朝鮮語Ⅰ	1	×	注	GnE*C-0FRL-013
	初級朝鮮語Ⅱ	1	×	注	GnE*C-0FRL-014
	初級朝鮮語Ⅲ	1	×	注	GnE*C-0FRL-015
	初級朝鮮語Ⅳ	1	×	注	GnE*C-0FRL-016

注：法文学部人文社会学科（昼間主コース）の学生は履修することができません。

教員免許に関する科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科 目 ナ ン バ リ ン グ
	スポーツと教育	1	×	注	GnE*C-0TCH-001
	教職日本国憲法	2	×	注	GnE*C-0TCH-002

注：「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」は、教育職員免許状取得を目指す学生のみ履修可能です。

4 発展科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
愛媛の食と農の持続可能性に関する科目	SDGs × Food-Value-Chain in Ehime for Glocal Food Security	1	×		GnE*D-0XTN-044
	田舎×持続可能性でブランド化する愛媛と世界の経済学	1	×		GnE*D-0XTN-045
SUIJI サーバント・リーダー養成に関する科目	ベーシック国内サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-004
	ベーシック海外サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-005
	アドバンスド国内サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-006
	アドバンスド海外サービスラーニング	4	×		GnE*D-0XTN-007
環境 ESD 指導者養成に関する科目	SDGs - グローカル未来創成入門	2	×		GnE*D-0XTN-040
	環境 ESD 指導者養成講座 I	4	×		GnE*D-0XTN-009
	環境 ESD 指導者養成講座 II	4	×		GnE*D-0XTN-010
愛媛大学リーダーズ・スクールに関する科目	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	×		GnE*D-0XTN-013
	ファシリテーションとリーダーシップ	2	×		GnE*D-0XTN-039
	グローバル・リーダーシップ I	1	●		GnE*D-0XTN-014
	グローバル・リーダーシップ II	1	●		GnE*D-0XTN-015
スキルアップ科目	英語 S 1	2	●		GnE*D-0XTN-030
	英語 S 2	2	●		GnE*D-0XTN-031
	英語 S 3	2	■		GnE*D-0XTN-032

5 留学生対象科目

区 分	授 業 科 目	単 位	重 複 履 修	備 考	科目ナンバリング
日本語科目	アカデミックジャパニーズ1	1	×	注	GnE*E-0INS-001
	アカデミックジャパニーズ2	1	×	注	GnE*E-0INS-002
	アカデミックジャパニーズ3	1	×	注	GnE*E-0INS-003
日本事情に関する科目	日本事情 A 1	2	▲	注	GnE*E-0INS-029
	日本事情 A 2	2	▲	注	GnE*E-0INS-030
	日本事情 B 1	2	▲	注	GnE*E-0INS-031
	日本事情 B 2	2	▲	注	GnE*E-0INS-032

注：これらの授業科目について次の表の第1欄に掲げる単位を修得したときは、各学部の定めるところにより、第2欄に掲げる単位に替えることができます。なお、「日本語科目」と「英語」の単位を合算して3単位にすることはできません。

第1欄		第2欄	
日本語科目	3単位	英語	3単位
日本事情に関する科目	8単位まで	教養科目	8単位まで

履修単位表

法文学部

科目区分		学科・コース	人文社会学科	
		昼間主コース		
共通教育科目	基盤科目	新 入 生 セ ミ ナ ー	2単位	
		こ こ ろ と 健 康	1単位	
		ス ポ ー ツ	1単位	
		英 語	3単位	
		社 会 力 入 門	1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位	
		知 的 財 産 入 門	1単位	
		小 計	11単位	
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位	
		未来思考リテラシー	1単位	
		未来思考セミナー	—	
		小 計	2単位	
	教養科目	愛大スタンダード科目	3単位	
		愛大プライム科目	9単位*	
		課題発見基礎セミナー		
		大学間連携科目		
		教員免許に関する科目		スポーツと教育
				教職日本国憲法
		小 計	12単位	
	発 展 科 目			
	計	25単位		
	専 門 教 育 科 目	90単位		
	自 由 選 択	12単位		
	合 計	127単位		

科目区分		学科・コース	人文社会学科
		夜間主コース	
共通教育科目	基盤科目	新 入 生 セ ミ ナ ー	2単位
		こ こ ろ と 健 康	1単位
		ス ポ ー ツ	1単位
		英 語	3単位
		社 会 力 入 門	1単位
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位
		知 的 財 産 入 門	1単位
		小 計	11単位
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位
		未来思考リテラシー	1単位
		未来思考セミナー	—
		小 計	2単位
	教養科目	愛大スタンダード科目	3単位
		愛大プライム科目	9単位*
		課題発見基礎セミナー	
		大学間連携科目	
		初 修 外 国 語	
		教員免許に関する科目	
			教職日本国憲法
	小 計	12単位	
	発 展 科 目		
	計	25単位	
	専 門 教 育 科 目	82単位	
	自 由 選 択	18単位	
	合 計	125単位	

注)「発展科目」は卒業要件単位数に算入しない。

- ・未来思考支援科目のうち、未来思考セミナーで修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位数に充てることができる。
- ・昼間主コースにおいては、教養科目最低履修単位12単位のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた残りの9単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目、教員免許に関する科目いずれの単位を取得してもよい。
- ・夜間主コースにおいては、教養科目最低履修単位12単位のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた残りの9単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目、初修外国語、教員免許に関する科目いずれの単位を取得してもよい。

法文学部 (夜間主コース)

授業科目の区分等	最低履修単位	1年次						2年次						3年次							
		前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期									
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター								
新入生セミナー	2	新入生セミナー																			
基礎科目		1	1																		
英語	3	English Foundation	1	English Communication Strategies	2																
社会力入門	1					1	社会力入門														
情報リテラシー入門I	1	情報リテラシー入門I	1	情報リテラシー入門II	1																
知的財産入門	1					1	知的財産入門														
Beyond SDGs	1																				
未来思考リテラシー	1																				
未来思考セミナー																					
共通教育科目	3	愛大スタンダード科目	(3)	愛大スタンダード科目	(3)	愛大スタンダード科目	(3)	愛大スタンダード科目	(2)	愛大スタンダード科目	(2)	愛大スタンダード科目	(2)	愛大スタンダード科目	(1)	愛大スタンダード科目	(1)				
		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目		愛大ブライム科目					
教養科目	9※	課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー		課題発見基礎セミナー					
		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目		大学間連携科目					
科目	9※	初級ドイツ語		初級フランス語		初級中国語		初級朝鮮語		初級ドイツ語		初級フランス語		初級中国語		初級朝鮮語					
		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育		スポーツと教育					
発展科目		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法					
		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法		教職日本国憲法					

履修にあたっての注意点

- * 愛大スタンダード科目は、3単位以上修得してください。自然・技術・生命を含めて履修することを推奨します。
- * 愛大スタンダード科目は、各クォーターでの修得単位数の上限を表します。
- * 教養科目のうち※の9単位は、愛大スタンダード科目を含むいずれかの教養科目から修得してください。
- * 初級外国語を履修する場合は、前学期についてはIとII、後学期については前学期と同じ言語のIIIとIVをセットで履修してください。
- * 教職免許取得希望者は、昼間に開講される教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
- * 未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる※の単位に充てることができる場合があります。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

履修単位表

教育学部

課程・コース ・サブコース		学 校 教 育 教 員 養 成 課 程											
		教育発達実践コース					初等中等教科コース						
		幼 年 教 育 サ ブ コ ー ス	小 学 校 教 育 サ ブ コ ー ス	特別支援教育 サブコース		言語社会教育 サブコース		科学教育 サブコース		生活健康・芸術教育 サブコース			
				小 学 校 基 礎 免	中 学 校 基 礎 免	小 一 種 中 二 種	中 一 種 小 二 種	小 一 種 中 二 種	中 一 種 小 二 種	小 一 種 中 二 種	中 一 種 小 二 種		
科目区分													
共 通 教 育 科 目	基 盤 科 目	新 入 生 セ ミ ナ ー		2 単 位									
		こ こ ろ と 健 康		1 単 位									
		ス ポ ー ツ		1 単 位									
		英 語		3 単 位									
		社 会 力 入 門		1 単 位									
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2 単 位									
		知 的 財 産 入 門		1 単 位									
		小 計		11 単 位									
	未 来 思 考 支 援 科 目	Beyond SDGs		1 単 位									
		未来思考リテラシー		1 単 位									
		未来思考セミナー		(注)参照									
		小 計		2 単 位									
	教 養 科 目	愛大スタンダード科目		3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	3 単 位	
		愛大プライム科目											
		課題発見基礎セミナー											
		大 学 間 連 携 科 目		6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	6 単 位 *	
		初 修 外 国 語											
		関 係 免 許 に 関 する 科 目	ス ポ ー ツ と 教 育		1 単 位								
			教 職 日 本 国 憲 法		2 単 位								
			小 計		12 単 位								
		発 展 科 目		(注)参照									
		計		25 単 位									
	育 専 門 科 目 教	専 門 科 目		95 単 位	92 単 位	99 単 位	98 単 位	88 単 位	85 単 位	90 単 位	87 単 位	90 単 位	85 単 位
	自 由 選 択		10 単 位	13 単 位	6 単 位	7 単 位	17 単 位	20 単 位	15 単 位	18 単 位	15 単 位	20 単 位	
	合 計		130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	130 単 位	

- (注)・未来思考支援科目のうち、未来思考セミナーで修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位に充てることができる。
 ・教養科目の最低履修単位12単位のうち愛大スタンダード科目3単位及び教員免許に関する科目3単位を差し引いた残りの6単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目、初修外国語いずれの単位を修得してもよい。
 ・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。

教育課程表

教育学部

授業科目の区分等	1年次			2年次			3年次				
	前学期		後学期		前学期			後学期			
	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター		第3クォーター	第4クォーター		
授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位		
基礎科目	新入生セミナー	2									
	こころと健康	1									
	スポーツ	1		スポーツ							
	英語	3	English Foundation	1	English Communication Strategies	2					
	社会力入門	1			社会力入門	1					
	情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門I	1							
	知的財産入門	1			知的財産入門	1					
	Beyond SDGs	1					Beyond SDGs	1			
	未来思考リテラシー	1							未来思考リテラシー	1	
	未来思考セミナー									未来思考セミナー	
共通教育科目	自然	3									
	技術										
	生命										
	人間										
	制度										
	社会										
	愛大スタンダード科目			愛大スタンダード科目 (2)	愛大スタンダード科目 (2)	愛大スタンダード科目 (3)	愛大スタンダード科目 (3)	愛大スタンダード科目 (3)	愛大スタンダード科目 (1)	愛大スタンダード科目 (1)	
	愛大ブライム科目										愛大ブライム科目
	課題発見基礎セミナー										課題発見基礎セミナー
	大学間連携科目										大学間連携科目
科目	初級ドイツ語	6※									
	初級フランス語										
	初級中国語										
	初級朝鮮語										
	スポーツと教育									スポーツと教育	
	教職日本国憲法					教職日本国憲法	2				
発展科目											

履修にあたっての注意点

- * 教員免許に関する科目の「スポーツと教育」及び「教職日本国憲法」を必ず履修してください。
- * 愛大スタンダード科目は、3単位以上修得してください。自然・技術・生命を含めて履修することを推奨します。
- * 愛大スタンダード科目の単位欄の()は、各クォーターでの修得単位数の上限を表します。
- * 教養科目のうち※の6単位は、教員免許に関する科目を除くいずれかの教養科目から修得してください。
- * 初級外国語を履修する場合は、前学期についてはIとII、後学期については前学期と同じ言語のIIIとIVをセットで履修してください。
- * 未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる※の単位に充てることができます。
- * 発展科目で修得した単位は、卒業要件上の「自由選択」の単位となります。

履修単位表

社会共創学部

科目区分		学 科	産業マネジメント 学科	産業イノベーション 学科	環境デザイン 学科	地域資源マネジメント 学科
共通 教育 科目	基 盤 科 目	新 入 生 セ ミ ナ ー	2単位			
		こ こ ろ と 健 康	1単位			
		ス ポ ー ツ	1単位			
		英 語	3単位			
		社 会 力 入 門	1単位			
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位			
		知 的 財 産 入 門	1単位			
		小 計	11単位			
	未 来 思 考 支 援 科 目	B e y o n d S D G s	1単位			
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー	1単位			
		未 来 思 考 セ ミ ナ ー	—			
		小 計	2単位			
	教 養 科 目	愛 大 ス タ ン ダ ー ド 科 目	3単位			
		愛 大 プ ラ イ ム 科 目	9単位*			
		課 題 発 見 基 礎 セ ミ ナ ー				
		大 学 間 連 携 科 目				
		初 修 外 国 語				
		小 計	12単位			
	発 展 科 目	—				
	計	25単位				
	専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	99単位			
	合 計		124単位			

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

- ・未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位数に算入できる。
- ・教養科目のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた9単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目及び初修外国語から取得すること。

履修単位表

理学部

科目区分		学科	理学科	
共通 教育 科目	基 盤 科 目	新 入 生 セ ミ ナ ー	2単位	
		こ こ ろ と 健 康	1単位	
		ス ポ ー ツ	1単位	
		英 語	3単位	
		数 学	微積分 2単位	
		社 会 力 入 門	1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位	
		知 的 財 産 入 門	1単位	
		小 計	13単位	
	未 来 思 考 支 援 科 目	B e y o n d S D G s	1単位	
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー	1単位	
		未 来 思 考 セ ミ ナ ー	—	
		小 計	2単位	
	教 養 科 目	愛 大 ス タ ン ダ ー ド 科 目	3単位	
		愛 大 プ ラ イ ム 科 目	9単位*	
		課 題 発 見 基 礎 セ ミ ナ ー		
		大 学 間 連 携 科 目		
		初 修 外 国 語		
		教員免許に 関する科目		ス ポ ー ツ と 教 育
				教 職 日 本 国 憲 法
	小 計	12単位		
	発 展 科 目	(注)参照		
	計	27単位		
	専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	91単位	
	自 由 選 択	6単位		
	合 計	124単位		

- (注)・未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位に充てることができる。
 ・教養科目の最低履修単位12単位のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた残りの9単位は、「愛大スタンダード科目」、「愛大プライム科目」、「課題発見基礎セミナー」、「大学間連携科目」、「初修外国語」、「教員免許に関する科目」(※履修制限あり)から取得すること。
 ・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。

履修単位表

医学部

科目区分		学科		医学科		看護学科		
共通教育科目	基盤科目	新 入 生 セ ミ ナ ー		2単位				
		こ こ ろ と 健 康		1単位				
		ス ポ ー ツ		1単位				
		英 語		3単位				
		社 会 力 入 門		1単位				
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位				
		知 的 財 産 入 門		1単位				
		小 計		11単位				
	未来思考支援科目	B e y o n d S D G s		1単位				
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー		1単位				
		未 来 思 考 セ ミ ナ ー		—				
		小 計		2単位				
	教養科目	愛大スタンダード科目		3単位		3単位		
		愛大プライム科目		9単位*				
		課 題 発 見 基 礎 セ ミ ナ ー						
		大 学 間 連 携 科 目						
		初 修 外 国 語						
		教員免許に関する科目	ス ポ ー ツ と 教 育					9単位*
			教 職 日 本 国 憲 法					
	小 計		12単位		12単位			
	発 展 科 目							
	計		25単位		25単位			
	専門教育科目	専 門 基 礎 科 目		20単位		22単位		
		専 門 科 目		153単位		77単位		
	合 計		198単位		124単位			

(注)・看護学科で養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を履修すること（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様）。

- ・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。
- ・未来思考支援科目のうち、未来思考セミナーで修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位に充てることができる。
- ・教養科目のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた9単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目、初修外国語、教員免許に関する科目から取得すること。

履修単位表

工学部

科目区分		学科	工学科	
共通 教育 科目	基 盤 科 目	新 入 生 セ ミ ナ ー	2単位	
		こ こ ろ と 健 康	1単位	
		ス ポ ー ツ	1単位	
		英 語	3単位	
		数 学	線形代数Ⅰ 2単位 線形代数Ⅱ 2単位 微積分Ⅰ 4単位 微積分Ⅱ 2単位	
		社 会 力 入 門	1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位	
		知 的 財 産 入 門	1単位	
		小 計	21単位	
	未 来 思 考 支 援 科 目	B e y o n d S D G s	1単位	
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー	1単位	
		未 来 思 考 セ ミ ナ ー	—	
		小 計	2単位	
	教 養 科 目	愛大スタンダード科目	3単位	
		愛大プライム科目	9単位*	
		課題発見基礎セミナー		
		大学間連携科目		
		初修外国語		
		教員免許に関する科目		スポーツと教育
				教職日本国憲法
	小 計	12単位		
発 展 科 目	—			
計	35単位			
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	16単位		
	専 門 入 門 科 目	10単位		
	専 門 基 礎 科 目 ・ 専 門 応 用 科 目	63単位		
合 計		124単位		

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

- ・未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位数に算入できる。
- ・教養科目のうち愛大スタンダード科目3単位を差し引いた9単位は、愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、課題発見基礎セミナー、大学間連携科目、初修外国語、教員免許に関する科目から取得すること。

授業科目の区分等	1年次				2年次				3年次			
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期	
	第1フォォーター 授業科目名等 単位	第2フォォーター 授業科目名等 単位	第3フォォーター 授業科目名等 単位	第4フォォーター 授業科目名等 単位	第1フォォーター 授業科目名等 単位	第2フォォーター 授業科目名等 単位	第3フォォーター 授業科目名等 単位	第4フォォーター 授業科目名等 単位	第1フォォーター 授業科目名等 単位	第2フォォーター 授業科目名等 単位	第3フォォーター 授業科目名等 単位	第4フォォーター 授業科目名等 単位
新入生セミナー	2											
こころと健康	1											
スポーツ	1											
英語	2	English Communication Strategies 【191~380、381~475】	2	English Foundation	1							
数学	10	微積分 I	4	微積分 II	2							
社会力入門	1		2	総形代数 II	2							
情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門 I	1	社会力入門	1							
知的財産入門	1			知的財産入門 1								
Beyond SDGs	1					Beyond SDGs	1					
未来思考リテラシー	1											
未来思考セミナー												未来思考セミナー
基礎科目	自然											
	技術											
	生命											
教養科目	人間											
	制度											
	社会											
専修科目	愛大ブライム科目											
	課題発見基礎セミナー											
	大学間連携科目											
履修にあたる注視点	初級ドイツ語											
	初級フランス語											
	初級中国語											
発展科目	初級朝鮮語											
	スポーツと教育											
	教職日本国憲法											

履修にあたる注視点
 愛大スタンダード科目は、3単位以上修得してください。人間・制度・社会を含めて履修することを推奨します。
 愛大スタンダード科目は、各フォォーターでの修得単位数の上限を表します。
 愛大スタンダード科目のうち※の9単位は、前学期に履修する場合は、前学期に履修する科目から履修してください。
 初級外国語を履修する場合は、前学期に履修する科目は、IとII、後学期については前学期と同じ言語のIIIとIVをセットで履修してください。
 未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる※の単位に充てることができます。
 修得した発展科目の単位は、卒業要件には含まれません。
 【 】内の数字は、学生証番号の中の個人番号を記載しています。

履修単位表

農学部

科目区分		学科		食料生産学科	生命機能学科	生物環境学科
共通 教育 科目	基 盤 科 目	新 入 生 セ ミ ナ ー		2単位		
		こ こ ろ と 健 康		1単位		
		ス ポ ー ツ		1単位		
		英 語		3単位		
		数 学		解析学入門 2単位		
		社 会 力 入 門		1単位		
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位		
		知 的 財 産 入 門		1単位		
		小 計		13単位		
	未 来 思 考 支 援 科 目	B e y o n d S D G s		1単位		
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー		1単位		
		未 来 思 考 セ ミ ナ ー		—		
		小 計		2単位		
	教 養 科 目	愛大スタンダード科目		3単位		
		愛大プライム科目		9単位*		
		課題発見基礎セミナー				
		大学間連携科目				
		初修外国語				
		教員免許に 関する科目	スポーツと教育			
			教職日本国憲法			
	小 計		12単位			
	発 展 科 目					
	計		27単位			
	専 門 教 育 科 目	専 門 科 目		98単位		
	合 計		125単位			

(注)・教養科目のうち*の9単位は、愛大スタンダード科目を含むいずれかの教養科目から修得すること。

・未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる*の単位に充てることができる。

・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

授業科目の区分等	1年次						2年次						3年次		
	前学期		後学期		前学期		後学期		前学期		後学期				
	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター			
授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位	授業科目名等	単位
最低履修単位															
新入生セミナー	2														
こころと健康	1														
スポーツ	1														
英語	3	English Foundation 1													
数学	2	解析学入門													
社会学入門	1	社会学入門 1													
情報リテラシー入門	2	情報リテラシー入門I 1 情報リテラシー入門II 1													
知的財産入門	1	知的財産入門 1													
Beyond SDGs	1														
未来思考リテラシー	1														
未来思考セミナー		未来思考リテラシー 1													
自然技術生命人間制度社会	3														
	愛大スタンダード科目	愛大スタンダード科目 (2) 愛大スタンダード科目 (2) 愛大スタンダード科目 (3) 愛大スタンダード科目 (3) 愛大スタンダード科目 (1) 愛大スタンダード科目 (1)													
愛大ブライム科目	愛大ブライム科目														
課題発見基礎セミナー	課題発見基礎セミナー														
大学間連携科目	大学間連携科目														
初級ドイツ語	I	II		III		IV									
	初級フランス語		初級中国語		初級朝鮮語										
	初級外国語		スポーツと教育		スポートと教育		(1)								
	初級外国語		教職日本国憲法		教職日本国憲法		(2)								
9**															
発 展 科 目															

履修にあたっての注意点

- * 愛大スタンダード科目は、3単位以上修得してください。人間・制度・社会を含めて履修することを推奨します。
- * 愛大スタンダード科目の単位欄の()は、各クォーターでの修得単位数の上限を表します。
- * 教養科目のうち**の9単位は、愛大スタンダード科目を含むいずれかの教養科目から修得してください。
- * 農学部では初修外国語の履修を勧めますが、考え方や視野を広げるためにとっても重要です。
- * 初修外国語を履修する場合は、前学期についてはIとII、後学期については前学期と同じ言語のIIIとIVをセットで履修してください。
- * 未来思考支援科目のうち、「未来思考セミナー」で修得した単位は、教養科目で必要とされる**の単位に充てることができる*ができません。
- * 修得した発展科目の単位は卒業要件には含まれません。

Ⅶ. 履修登録手続等

共通教育科目を履修するためには、履修しなければならない科目、履修したい科目を登録することが必要です。履修登録は、各学期の履修登録期間に、修学支援システムから行ってください。履修に際しては、様々なルールがあります。以下の説明をよく読んで各自の責任で学習目的に沿った授業科目を選択してください。

1 履修登録の方法

履修登録は各自が修学支援システムで行います。

■URL <https://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>

※愛媛大学ホームページからのアクセス方法

愛媛大学ホームページ>大学生活>履修について>修学支援システム

修学支援システムトップページには「修学支援システム利用のてびき」が掲載されています。

2 履修登録の時期

履修登録は、毎学期行います。履修登録の時期は、修学支援システムでお知らせします。

3 履修登録の手順

(1) 共通教育科目の履修登録に必要なものを確認します。

- 愛媛大学アカウント及びパスワード
- 共通教育履修案内
- 共通教育科目授業時間割表（次ページ参照）
- その他の履修登録関連資料（修学支援システム履修登録画面の上部にまとめて掲載）

※1年次前学期の履修登録については、4月の履修指導の際に配付した「履修登録ワークシート」と「愛大スタンダード科目一覧」も活用してください。

(2) 履修案内で所属する学部の履修単位表及び教育課程表（P23～38参照）を確認します。

※各学期に履修するべき科目や単位数を、各自で十分確認してください。

(3) 時間割表で所属する学部・学科等の時間割を確認します。

※「シラバス」を熟読し（P41参照）、履修する科目を選択してください。

(4) 修学支援システムにアクセスし、選択した科目を登録します。

※履修のルール（P42～47参照）にしたがって登録してください。

(5) 定員を超過した科目については修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われます。必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を登録してください。

(6) 集中講義には、履修登録方法・履修登録期間を別途指定しているものがあります。それらの科目については、随時、修学支援システムからの開講通知により詳細をお知らせしますので、履修を希望する場合はよく確認し、案内にしたがってください。

4 時間割表の見方

共通教育科目授業時間割表は、共通教育関連ホームページで閲覧することができます。

- URL <http://web.iec.ehime-u.ac.jp/student.html> (共通教育関連ホームページ「在学生はこちら」)
- <http://web.iec.ehime-u.ac.jp/jikanwari/index.php> (共通教育科目授業時間割表)

The screenshot shows a course schedule table for the Faculty of Science (理学部). The table is organized by month (月) and semester (学期). Callouts 1-5 point to specific features: 1. Course ID (e.g., AG231), 2. Student ID (e.g., 115), 3. Remarks (e.g., ※履修上の注意参照), 4. R time limit (R), and 5. Concentrated lecture (集中講義) section at the bottom.

曜日	時間	開講期	時間割番号	科目名	教員名	備考	
月	1	1Q	AG231	情報リテラシー入門Ⅰ	岡本 好弘		
		2Q	B0231	情報リテラシー入門Ⅱ	岡本 好弘	(1~115)	
	4	1Q	A0603	課題発見基礎セミナー	シャクマトフ デイミトリ, 大塚 寛	(補充授業受講希望者)	
		1Q		初級外国語Ⅰ		※履修上の注意参照	
	5	1Q	A0601	課題発見基礎セミナー	栗田 英幸		
		2Q		初級外国語Ⅱ		※履修上の注意参照	
		2Q	B0601	課題発見基礎セミナー	栗田 英幸		
	火	2	1Q		愛大スタンダード科目...		
			2Q		愛大スタンダード科目...		
	水		1Q		スポーツ		(1~140) ※履修上の注意参照
金	R	1Q		愛大スタンダード科目...			
		2Q		愛大スタンダード科目...			

講義種別	時間割番号	科目名	教員名	備考
集中講義	10501	愛大プライム科目 (伊予の伝承文化を学び伝えるリーダー村)	高橋 平徳	※履修上の注意参照
集中講義	10502	愛大プライム科目 (Japanese Culture and Society in Comparative Perspective)	HIDDING ADRIANA	※履修上の注意参照
集中講義	10503	愛大プライム科目 (環境防災学)	二神 達	※履修上の注意参照

- ① 時間割番号は5桁の英数字から成る番号で、個々の授業科目に対応しています。
- ② () 内の数字は、*学生証番号の中の個人番号を表します。
- ③ 画面最下部に「履修上の注意」を掲載しています。必ず確認してください。
- ④ R 時限は、時間帯は指定せず曜日のみを指定する時間割枠です。
- ⑤ 集中講義は曜日別時間割の下に一覧を掲載しています。

*学生証番号

学生証番号とは学生個人を表す番号で、学生証に8桁で表されています。出席カード、レポート、試験の答案など、重要な書類の提出の際に必要なとなりますので、学生証は常に携行し、学生証番号も間違いのないように記憶しておいてください。

学生証番号の構成 (法文学部人文社会学科昼間主1番の学生の場合)

入学年度 (西暦下1桁)	学部コード (1桁)	学科・課程コード (2桁)	個人番号 (3桁)	チェックデジット (アルファベット1字)
5	1	1 1	0 0 1	A

【学部、学科・課程コード表】

学部	学部コード	学科・課程	学科・課程コード	学部	学部コード	学科・課程	学科・課程コード
法文学部 (昼間主)	1	人文社会学科	1 1	理学部	3	理学科	2 0
法文学部 (夜間主)	1	人文社会学科	5 1	医学部	4	医学科	0 1
						看護学科	0 6
教育学部	2	学校教育教員養成課程	3 0	工学部	5	工学科	2 0
社会共創学部	0	産業マネジメント学科	0 1	農学部	6	食料生産学科	1 1
		産業イノベーション学科	0 2			生命機能学科	1 2
		環境デザイン学科	0 3			生物環境学科	1 3
		地域資源マネジメント学科	0 4				

5 シラバスの見方

シラバスは修学支援システムの「シラバス検索」メニューで閲覧することができます。

※愛媛大学ホームページからのアクセス方法

愛媛大学ホームページ>大学生活>履修について>シラバス検索

開講年度	開講年度を記載しています。	開講学期	開講学期を記載しています。
開講学部等	開講学部等を記載しています。	授業科目区分	授業科目区分名を記載しています。
科目ナンバリング	科目ナンバリング(P14参照)を記載しています。	時間割番号	科目番号を記載しています。
定員	定員を記載しています。	曜日・時限	曜日・時限を記載しています。
対象学生	受講対象の学部、学科、コース、学年等を記載しています。	対象年次	受講対象の年次を記載しています。
科目名 [英文名]	授業科目名を記載しています。	単位数	単位数を記載しています。
担当教員 [ローマ字表記]	授業を担当する教員名を記載しています。	主要授業科目	各学部で定められた科目が該当します。

授業題目

授業の題目を記載しています。

授業のキーワード

授業の中で必要と思われる単語等を記載しています。

授業の目的

授業を受講することによって修得できる学習成果を、目的として記載しています。

授業の到達目標

授業を学んだ結果、何ができるようになるかを到達目標として記載しています。

ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標)

授業の到達目標に対応する項目を記載しています。(共通教育には、ディプロマ・ポリシーの設置はありません。)

愛媛大学学生として期待される能力 (愛大学生コンピテンシー) に関わる項目

愛大学生コンピテンシー (P6参照) の項目のうち、期待される能力に対応する項目を記載しています。

授業概要

授業のおおまかな内容及び授業形態 (対面及び遠隔等) を記載しています。

授業スケジュール

各回の授業で扱う授業内容を記載しています。

授業時間外学習にかかわる情報

授業時間外の予習、復習や課題について記載しています。

成績評価方法

評価の基準及び方法、試験の実施方法を記載しています。

受講条件

受講の前提として、履修する必要がある科目や学習しておいた方が望ましい内容を記載しています。

受講のルール

資料配付及び課題提出のルール、受講上の注意事項等を記載しています。

教科書 (購入の必要のある図書)

授業や授業時間外学習で使用する、購入する必要がある図書を記載しています。

参考書 (購入する必要はないが、推奨する図書)

授業や授業時間外学習の参考になる図書を記載しています。

教科書・参考書に関する補足情報

教科書、参考書の使用法、教科書を使わない場合の教材情報、その他学習に役立つ資料の情報を記載しています。

オフィスアワー

担当教員が授業科目に関する質問・相談等に応じている時間帯を記載しています。

Eメールアドレス

担当教員のEメールアドレスを記載しています。

連絡先

担当教員の研究室や連絡先を記載しています。

参照ホームページ

学習に効果的な情報、担当教員・研究室等に関する情報が掲載されているホームページのURLを記載しています。

その他

受講に対するメッセージや注意事項等を記載しています。

実務経験のある教員による授業科目

担当教員の実務経験について、記載しています。

6 履修のルール

(1) 履修上の注意事項

① 重複履修の禁止

一度履修して単位を修得した授業科目を、再度履修することはできません。ただし、一部の授業科目では、重複履修が認められています。詳細は、「V. 共通教育授業科目表」(P 18~21)の「重複履修」の記号で確認してください。

② 夜間開講科目の履修禁止

法文学部夜間主コース以外の学生は、夜間開講の共通教育授業科目を履修することはできません。ただし、6時限目に開講される初修外国語はこの限りではありません。

③ 法文学部夜間主コースの昼間開講科目履修のルール

夜間主コースの学生は、共通教育授業科目のうち、以下の昼間開講科目を履修することができます。

a. 教養科目

1) 履修できるのは、課題発見基礎セミナーと初修外国語で、**卒業までに8単位を上限とします(集中講義で開講される科目も含む)**。

(愛大スタンダード科目、愛大プライム科目、大学間連携科目、及び教員免許に関する科目は、開講時限に関わらず、夜間開講科目として履修することができます。)

2) 修得した単位は、次のとおり取り扱います。

i) 教養科目のそれぞれの科目区分、又は「自由選択」の卒業要件単位に充てることができます。

ii) 修得した単位を教養科目の卒業要件に充てる場合は、法文学部の履修のルールにある「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」には含まれません。

iii) 修得した単位を「自由選択」の卒業要件に充てる場合は、法文学部の履修のルールにある「卒業要件単位として認められる昼間開講の30単位」に含まれます。

b. 発展科目

履修できる単位数に制限はありません。ただし、修得した単位は、共通教育科目の卒業要件単位として認められません。

(2) 教養科目

教育上の効果や円滑な授業運営を図るため、一部の科目を除いて各科目に受講定員を設けています。履修登録者数が定員を超えた場合は修学支援システムの抽選機能を用いて抽選が行われますので、必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は履修登録修正期間中に他の科目を登録してください。抽選後の登録は先着順となります。

なお、集中講義では、履修登録者数が定員に達すると、登録を締め切る場合があります。

① 愛大スタンダード科目

1) 1年次の前・後学期（第1クォーター～第4クォーター）及び2年次の前学期（第1クォーター・第2クォーター）に開講されます。（医学部は1年次の前・後学期、工学部は2年次の前・後学期及び3年次の前学期に開講されます。）学部ごとに指定された月曜日から土曜日開講の科目群の中から履修登録してください。

なお、土曜日開講の科目は法文学部夜間主コースのみ履修登録できます。

2) 2年次（工学部は3年次）前学期までは、クォーターごとに履修できる科目の単位数に上限があります。所属学部の教育課程表（P 24～38）に記された（ ）内の単位数が上限となりますので確認してください。2年次（工学部は3年次）第3クォーター以降は科目群及び単位数に制限なく自由に履修できます。

3) 各クォーターで履修できるのは原則として各曜日1単位までです。

4) 科目名が同じでも担当教員が異なれば重複履修ができます。

② 課題発見基礎セミナー

1) 1年次の前学期から履修できます。*授業題目は科目によって異なりますので、シラバスで授業題目を確認のうえ履修してください。

*授業題目「初級微積分」及び「微積分入門」として開講されるセミナーは、理系学部の1年生を対象に開講される数学の補完授業です。工学部及び農学部の学生で、「数学力テスト」の受験結果により受講対象者となった学生は、「初級微積分」を履修してください。「微積分入門」は、理学部の学生を対象として開講されますが、受講は任意です。

2) 担当教員が同じでも単位数が異なれば重複履修ができます。

③ 初修外国語

1) 初修外国語は、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」の言語ごとに、第1クォーターから第4クォーターまで、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ（例、「初級ドイツ語Ⅰ」～「初級ドイツ語Ⅳ」）の授業科目が、毎週2回ずつ開講され、1年次（工学部は3年次）から履修できます。

2) 初修外国語は、同一言語を前学期・後学期と継続して受講することを前提に、1年間通して開講されます。前学期（第1クォーター・第2クォーター）についてはⅠとⅡの授業科目を、後学期（第3クォーター・第4クォーター）についてはⅢとⅣの授業科目をセットで履修してください。

3) 初修外国語に含まれるいずれかの言語を母語とする者は、当該外国語を履修することができません。

④ 愛大プライム科目・大学間連携科目

1年次の前学期から履修できます。主に集中講義で開講されますので、各学期の集中講義の案内に注意し、指定された期間に履修登録をしてください。一部の科目には受講定員が設けられています。

⑤ 教員免許に関する科目

教育職員免許状の取得を希望する学生以外は履修できません。教育免許に関する科目の履修条件は次のとおりです。

【法文学部・理学部・医学部看護学科・工学部・農学部】

「教職日本国憲法」の履修条件

- ① 「教職履修ガイダンス」に出席していること
- ② 「教職基礎論」を修得済み（農学部1回生は履修中）であること

「スポーツと教育」の履修条件

- ① 「教職履修ガイダンス」に出席していること
- ② 「教職基礎論」を修得済み（農学部1回生は履修中）であること
- ③ 「スポーツ」を修得済みであること

(注)

※工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者、及び医学部で養護教諭二種免許状の取得を希望する者については、「教職履修意思確認書」の提出を②の代替条件とすることができます。

※第Ⅰ期リフレクション・デイに参加し、教職課程学習ポートフォリオ（リフレクション・ログを含む）を提出していることを②の代替条件とすることができます。

【教育学部】

「スポーツと教育」の履修条件

- ・「スポーツ」を修得済みであること
- ※ 「教職日本国憲法」に履修条件はありません。

※ 「教職履修ガイダンス」は前学期中に開催予定です。詳細は教職教育チームにお問い合わせください。

(3) 発展科目

① 愛媛の食と農の持続可能性に関する科目

本プログラムは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、フードバリューチェーン（Food Value Chain）と食料安全保障（Food Security）の重要性を理解し、食と農の持続可能性について探求することを目的としています。所定科目の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、「Sustainable-FVC プログラム修了証」が授与されます。なお、本プログラムは英語（音声・字幕）で提供されます。

プログラムの詳細については以下のサイトで確認してください。

■URL https://aac.isc.ehime-u.ac.jp/ehimeu_asean-gfs

修了認定

本プログラムの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

愛媛の食と農の持続可能性に関する科目	単位	1回生以上		2回生以上	
		前	後	前	後
SDGs × Food-Value-Chain in Ehime for Glocal Food Security	1		○		
田舎×持続可能性でブランド化する愛媛と世界の経済学	1		○		
食と農の持続可能性と地域のイニシアティブ※	1				○
食と農のマルチスピーシーズ持続可能性理論※	1				○
合計	4				

※社会共創学部の専門科目として開講される科目です。

② SUIJIサーバント・リーダー養成に関する科目

グローバルな視野を持ちながら、地域に立脚し、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダーの育成を目的としています。所定科目の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、SUIJI コンソーシアム*より、SUIJI サービスラーニング・プログラムコースの修了証が授与されます。

SUIJI コンソーシアム*

SUIJIはSix-University Initiative Japan Indonesiaの略。SUIJI コンソーシアムは、愛媛大、香川大、高知大、ガジャマダ大、ボゴール農業大、ハサヌディン大の6大学からなるコンソーシアム。

修了認定

SUIJI サービスラーニング・プログラムコースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

SUIJI サーバント・リーダー養成 に関する科目	単位	1回生以上		2回生以上	
		前	後	前	後
SDGs - グローカル未来創成入門※1	2	○			
ベーシック国内サービスラーニング※2	4	○			
ベーシック海外サービスラーニング※2	4		○		
アドバンスド国内サービスラーニング※2	4			○	
アドバンスド海外サービスラーニング※2	4				○
合 計	18				

※1 「環境ESD指導者養成に関する科目」で開講される科目です。

※2 開講時期については変更となる場合があります。

③ 環境ESD指導者養成に関する科目

国連SDGs (SDGs: Sustainable Development Goals) の達成を目指して、持続可能な社会づくりのための教育 (ESD: Education for Sustainable Development) を担うことのできる環境ESD指導者の育成を目的としています。

本コースでは、国連SDGs (持続可能な開発目標) と地域規模の環境・経済・社会問題について学ぶほか、フィールド調査や公開講座の企画・開催を行います。

所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生には、環境ESD指導者養成コースの修了認定証を授与します。

修了認定

環境ESD指導者養成コースの修了認定を受けるためには、所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

なお、履修を希望する学生は、毎学期初めに開催されるガイダンスに出席することが必要です。

環境ESD指導者養成コース 修了認定科目	単位	1回生以上		2回生以上	
		前	後	前	後
SDGs - グローカル未来創成入門	2	○			
環境ESD指導者養成講座 I	4		○		
環境ESD指導者養成講座 II	4			○	
合 計	10				

④ 愛媛大学リーダーズ・スクール（E L S）に関する科目

本プログラムは、在学中ならびに卒業後に地域・国際社会に貢献し得るリーダーを養成する、愛媛大学独自の取り組みです。

受講生は、教職員からの指導や先輩学生からのサポート等を通して、自身のリーダーとしてのスキルやマインドを開発・成長させることができます。

プログラムの詳細については以下のサイトで確認してください。

■URL <https://els.opar.ehime-u.ac.jp/>（愛媛大学リーダーズ・スクール）

資格認定

本プログラムでは、授業を含めた以下の要件を満たすことによって、本学公認の資格「愛媛大学リーダーズ・ライセンス」を取得することができます。

1. 授業科目「愛媛大学リーダーズ・スクール」の履修（必修）
2. 授業科目「ファシリテーションとリーダーシップ」（E F L）の履修（必修）
3. E L S 認定科目の履修（選択必修）
4. E L S / E F L / 西日本学生リーダーズ・スクール（UNGL）プロジェクト等のリーダー経験
5. その他E L S 授業内でアナウンスする学内外のセミナー・研修等の受講

愛媛大学リーダーズ・ライセンスを取得するためには所定の科目を修得する必要があります。次の表にしたがって、計画的に履修してください。

授 業 科 目		単 位	1 回生～4 回生	
			前 期	後 期
必修	愛媛大学リーダーズ・スクール	2	集中	
	ファシリテーションとリーダーシップ	2		集中
選択必修	グローバル・リーダーシップⅠ	1		集中
	グローバル・リーダーシップⅡ	1		集中
	その他のE L S 認定科目	1～2	随時履修	

⑤ スキルアップ科目

スキルアップ科目とは、基礎的な科目を習得した後、さらに経験を積みたい、また、高度な内容を学び知識を深めたい、継続して学びたい場合に履修できる発展的な科目です。

授業科目名	単 位	開講時期	授業科目の概要
英語 S 1	2	夏季集中	海外での短期語学研修に参加した学生に対して、研修先より発行された修了証等を確認し、単位を認定する授業です。なお、事前・事後指導の受講が義務づけられており、それらを適切に受講していない場合は、単位認定は行われません。
英語 S 2	2	春季集中	
英語 S 3	2	前・後学期	英語のスピーキング・リスニング・ライティング・リーディングの技能間の連携を意識した学習を通して、高度な英語コミュニケーション力の習得を目指す授業です。通訳入門、ビジネス英語、アカデミックリーディングなど様々なテーマの授業を開講します。主に2年次以上を対象としています。

(4) 留学生対象科目

外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入学し、本学に入学した外国人留学生）及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間、中等教育（中学校又は高等学校で受ける教育に相当する）を受けた学生（帰国子女）のうち、所属する学部で履修を許可された学生に対して、次のような授業科目を開設しています。これらの授業科目には履修上の特例が定められています。詳しくは各学部の指示に従って履修してください。

区分	授業科目	単位	原則的な履修年次（単位）			
			1年次			
			前学期		後学期	
			第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
日本語科目	アカデミックジャパニーズ1	1	1			
	アカデミックジャパニーズ2	1		1		
	アカデミックジャパニーズ3	1			1	
日本事情に関する科目	日本事情A 1	2	2			
	日本事情A 2	2			2	
	日本事情B 1	2	2			
	日本事情B 2	2			2	

(5) 教育職員免許状を取得する場合に必要な科目

教育職員免許状の取得に必要な共通教育科目は下表のとおりです。

「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」は教育学部以外では必修科目ではありませんので、漏れのないように単位を修得してください。

開講される年次・学期等については「教育課程表」で確認してください。

教育職員免許法施行規則に定める科目	左記に対応する共通教育科目	科目区分
日本国憲法（2単位）	教職日本国憲法（2単位）	教養科目
体育（2単位）	スポーツ（1単位）	基盤科目
	スポーツと教育（1単位）	教養科目
外国語コミュニケーション（2単位）	English Communication Strategies（2単位）	基盤科目
情報機器の操作（2単位）	情報リテラシー入門Ⅰ（1単位）	基盤科目
	情報リテラシー入門Ⅱ（1単位）	

Ⅳ. 受講上の注意事項

授業を受ける際に知っておかなければならないことを説明します。知らないばかりに授業を受けられなかったり、必要な連絡ができなかったり、学生生活上に必要な支援が得られなかったり、さまざまな不都合が生じることとなります。受講上の基本的な注意事項については、特に確認しておきましょう。

1 授業に関する情報

共通教育授業に関するいろいろな情報は、主に修学支援システムや共通教育関連ホームページ上で提供されます。定期的に、必ず確認をしてください。

(1) 修学支援システム

シラバス、休講・補講、落とし物、行事予定、メッセージ、その他の大事なお知らせ情報が掲載されます。

■URL <https://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>

修学支援システムで利用できる機能

メニュー名	処 理 内 容
履修登録	履修登録が行えます。リアルタイムで履修登録が行われるので履修確認の手間が省かれます。
履修時間割表	履修登録した時間割を閲覧できます。PDFでの出力もできます。
学修ポートフォリオ	入学から卒業までの学修について、記録することができます。PDFでの出力もできます。
各種ポートフォリオ	履修した授業や、学習活動の学習記録を作成することができます。
定期試験	履修科目の定期試験情報を閲覧できます。(学部によっては掲載していないことがあります。)
成績照会	修得科目の成績、GPAを閲覧できます。
学籍情報照会	本人の学籍情報、異動履歴、宿所情報、保証人情報、免許資格情報が閲覧できます。また、宿所情報、保証人情報は編集することもできます。申請予定の免許・資格の登録もこのメニューで行います。
健康診断結果	健康診断結果を閲覧できます。
海外渡航情報登録	海外渡航届の登録・帰国報告が行えます。
シラバス検索	シラバスを検索し、閲覧することができます。
メッセージ確認	履修している授業の休講・補講情報、講義連絡等のほか、個人あてメッセージの確認ができます。一部のメッセージに対しては返信することもできます。
落とし物	落とし物情報を閲覧できます。
年間行事予定	自学部の年間行事予定を閲覧できます。
アンケート回答	本人が対象となっているアンケートに回答できます。
アンケート集計結果	公開されたアンケートの集計結果が閲覧できます。
学内FAQ	学生何でも相談を閲覧できます。
証明書発行機パスワード設定	証明書発行機のパスワードを設定できます。
メール転送設定	自分あてに届く大学からのメッセージ情報などを、指定するアドレスに転送することができます。
進路・就職情報	本人の進路に関する情報を登録するほか、就職活動を記録したり、後輩のために、就活体験記を登録できます。
先輩の就活体験記	先輩が登録した就活体験記を検索し、参照することができます。
就職に関するお知らせ情報	求人情報や、インターンシップ情報等、就職に関するお知らせを参照することができます。
Moodle	Moodleへのリンクです。
Outlook (Microsoft365)	全学メールアドレス (Microsoft365) へのリンクです。
時間割一覧 (週間) (スマートフォン限定)	1週間の時間割を確認することができます。
授業情報 (スマートフォン限定)	休講、補講、時間割変更、教室変更、講義連絡、授業科目一覧を確認することができます。

(2) 共通教育関連ホームページ

共通教育科目授業時間割表や、集中講義一覧、科目別の履修関連情報など、共通教育に関わる内容を掲載しています。

■URL <http://web.iec.ehime-u.ac.jp/student.html> (共通教育関連ホームページ [在学生はこちら])

2 授業の実施場所等

(1) 教室

共通教育の対面授業は、主に、次の教室（建物）で行われます。（P54～56参照）

受講する授業の教室は修学支援システムで確認してください。

- ・愛大ミュージアム……………M21～M33、
M 演習室 1～M 演習室 3
- ・コラボハウスホール……………C H
(グリーンホール)
- ・共通講義棟 A……………共 A11～共 A53、
多レク 1、多レク 2、A L R
- ・教育学部 4 号館……………E 41、E 42、M P R
- ・総合情報メディアセンター……第 1～第 3 演習室、メディア演習室

夜間開講の授業は、主に共通講義棟 B の教室で開講されます。

(2) 教室変更

授業科目ごとに確定した受講者数にとめない、授業開始前後に教室を変更することがあります。教室の変更については、修学支援システムで確認してください。

3 休講・補講

(1) 通常の休講・補講

授業担当教員が、出張又は病気等の理由で担当する授業を休講する場合、また、休講授業の補講をする場合は、修学支援システムで通知しますので、毎日確認するようにしてください。

(2) 気象等に関する特別警報又は台風に伴う暴風警報が発表された場合の授業の取扱いについて

松山市又は東温市のいずれかに特別警報（高潮及び波浪を除く。）又は台風に伴う暴風警報（以下「特別警報等」という。）が発表された場合の愛媛大学（附属学校園を除く。）における授業（休業期間中の集中講義を含む。以下同じ。）の取扱いは、下記のとおりとします。

- ① 昼間に開講する授業については、当日午前 7 時に特別警報等が発表されている場合又は午前 7 時から午前の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午前の授業を休講とします。また、午前 11 時に特別警報等が発表されている場合又は午前 11 時から午後の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、午後の授業を休講とします。
- ② 夜間に開講する授業については、午後 4 時に特別警報等が発表されている場合又は午後 4 時から夜間の授業開始までに特別警報等が発表された場合は、全ての授業を休講とします。
- ③ 授業開始後に特別警報等が発表された場合は、当該授業時間帯（午前、午後又は夜間）における次の時限以降の授業を休講とします。ただし、特別警報（高潮及び波浪を除く。）が発表された場合は、直ちに授業を取りやめることとします。

4 授業の欠席

病気、怪我、忌引き等のやむを得ない理由で授業を欠席する場合は、授業担当教員へ欠席理由を申し出るようにしてください。

なお、以下の場合には正当な理由による授業欠席として認められる場合があります。(P 58 「愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ」参照)

- (1) 学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
- (2) 学生の親族が死亡した場合
- (3) 自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
- (4) 裁判員制度に基づき、裁判員候補者として選任手続期日に裁判所へ出頭する場合若しくは裁判員（補充裁判員を含む。）として職務に従事する場合又は検察審査会の審査員若しくは補充員として職務に従事する場合
- (5) 教育実習に参加した場合
- (6) 博物館実習に参加した場合
- (7) 介護等体験に参加した場合
- (8) 授業として行うインターンシップに参加した場合
- (9) 本学が大学として開催に関わる大会に参加した場合
- (10) 本学が要請した用務に参加した場合
- (11) 当該学部、研究科、学環又は教育・学生支援機構が認めた場合

5 試験及び成績

(1) 試験

試験については、担当教員の指示に従ってください。

(2) 試験等における受験上の注意

受験に際しては、「学生証」を必ず持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

(3) 不正行為

試験の際に不正行為を行った者は、「愛媛大学学業成績判定に関する規程」により、当該学期の全学業成績を判定しないという処置がとられます。また、「愛媛大学学生懲戒処分規程」により無期停学の懲戒処分を受けます。

(4) レポートの提出

① レポートの作成

「科目番号、授業科目名、担当教員名、学科、回生、学生証番号、氏名」をレポートの表紙にわかりやすく記入してください。詳細な作成方法については、担当教員の指示に従ってください。

レポート・論文の中で他者の意見を引用する場合は、引用がわかる表示が必要です。適切な表示のない場合は、盗作とみなされることがあります。

〔参考〕

レポート作成上で、守るべき事項（ガイドライン）

- ① 書籍・雑誌等から他者（先輩や同級生も含む。）の文章を引用する場合は、該当箇所を明確にした上で、必ず出典を明示すること。これには、インターネット上の文章から引用する場合も含まれる。
- ② 他者が執筆した文献や書籍・雑誌を参考にした場合は、文献名などを明示すること。但し、論旨に直接関連しない場合には、明示の必要はない。
- ③ 他者のデータ等を利用する場合は、該当箇所を明確にした上で、出典等を明示すること。
- ④ 他者との共同による学習成果を利用する際には、その旨を明記すること。
- ⑤ 他者のレポート等をそのまま写して提出すること、他者に依頼し作成したレポートを提出すること、あるいは複数科目において同一内容のレポートを提出することは、言うまでもなく絶対に行ってはならない行為である。また、自己の学習成果を盗用目的の他者に供与することも厳に慎むべき行為である。

② レポートの提出期限、提出場所

- a. 提出方法については、担当教員の指示に従ってください。
- b. 指示された提出期限を超えると、受理されませんので注意してください。
- c. 提出場所が「共通教育レポートボックス」と指示された場合は、図書館1階北出入口横の「レポートボックス」に提出してください。ただし、夜間開講の共通教育科目のレポート提出場所については、担当教員の指示に従ってください。

(5) 追試験

次に掲げる事情で、定められた期日に受験できなかった場合、追試験を受けることができます。

- ① P50 4 授業の欠席(1)~(11)の理由
- ② その他やむを得ない理由であると認められるもの

なお、追試験を受けようとする者は、当該科目の担当教員の指示に従い、必要に応じて「共通教育科目追試験願」及び「その事情を証明できる書類等」を担当教員または共通教育チームへ提出してください。

(6) 成績の通知

成績は、修学支援システムにより、確認できます。

(7) 成績確認申立

学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じた場合は、成績の通知後、原則として1週間以内に、成績確認申立書（巻末に見本様式あり）を提出し、成績の確認を申し立てることができます。申立てを行う場合は、P60の「学業成績判定に関する申立てについて」の内容に従い、具体的な理由を明確にしたうえで、共通教育チーム（専門科目については開講学部）に申し出てください。

6 授業改善のためのアンケート

本学では、授業担当教員が学生とともに授業をより良いものへ改善することを目的として「授業アンケート」を実施しています。アンケートの結果は、授業担当教員に提供され、授業内容や授業方法の改善のための貴重なデータになります。開講される全ての共通教育科目に対して、各クォーター（各学期）の授業の終了時期にアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。アンケートの集計結果は、共通教育関連ホームページに掲載されます。

Ⅸ. 学びのサポート

1 教科書

(1) 購入方法

毎学期の始め、愛媛大学生協で販売されます。使用する教科書はシラバスで事前に確認をしてください。

(2) 活用方法

大学における教科書は、単に授業時間内だけに利用されるものではありません。1つの授業で伝えるべき内容は数多くあり、授業時間内に伝えることのできる範囲は限られています。授業で理解できないことや、疑問点を解消するために予習することが、授業を受講するのと同様に大切なことです。自習用のテキストとしても大いに活用してください。

2 ノートパソコンの活用

1年次の開講科目である「情報リテラシー入門」で各自のパソコンを利用した講義を行うとともに、様々なeラーニング教材を活用した講義や、遠隔授業の受講のほか、レポートや論文作成、授業の履修登録や成績確認、教員からの連絡や、教員への質問など、在学中、パソコンとインターネットを活用する機会が多くあります。また、これらの活用を通じて Microsoft Office など各種ソフトウェアの活用に習熟することは、今後の社会生活でも不可欠です。授業でパソコンを利用することがありますので、教員の指示があった場合には、持参できるように準備してください。

3 大学内での自主的な学習

(1) 図書館を利用する

図書の貸出、閲覧をはじめ、図書館は皆さんが必要とする情報を収集できる場です。

- 図書館の詳細については、ホームページで確認してください。

<https://opac.lib.ehime-u.ac.jp>

場 所：中央図書館（P54参照）

(2) 総合情報メディアセンターを利用する

総合情報メディアセンターの各演習室に備え付けのコンピュータは自主学習用としても利用することができます。入学時に発行される愛媛大学アカウント及びパスワードを使用して利用してください。

また、コンピュータはプリンタとも接続されていて、生協電子マネー（アイパ）を利用して、レポートの印刷や、課外活動で必要な書類の印刷ができます。

- 総合情報メディアセンターの詳細については、ホームページで確認してください。

<https://www.cite.ehime-u.ac.jp>

場 所：総合情報メディアセンター（P54参照）

(3) 共通講義棟A又は愛大ミュージズ内のラウンジを利用する

「コミュニケーションラウンジ」、「スカイラウンジ・ノース」は、授業時間外学習促進のための自主学習に利用したり、授業などでグループに与えられた課題を取り組む場として、広く利用できるスペースです。利用にあたっては、注意事項を守り、お互いが気持ちよく使えるように心がけてください。

●コミュニケーションラウンジ

利用時間：授業期間中の月～金曜日 8：30～21：00

授業期間外の月～金曜日 9：00～17：00

※土日祝日、夏季一斉休業、年末年始は使用できません。

場 所：共通講義棟 A 1 階（P 55 参照）

●スカイラウンジ・ノース

利用時間：月～金曜日 8：30～21：00

※土日祝日、夏季一斉休業、年末年始は使用できません。

場 所：愛大ミュージズ 3 階（P 56 参照）

4 学習支援

皆さんの学習の支援を行うために、愛媛大学では様々な学習支援を提供しています。それらの学習支援情報を集約した「学習支援サイト」と、自主学習等に活用いただける動画をまとめた「学習支援動画サイト」を愛媛大学ホームページに掲載していますので、大学での学びをより深め、充実した大学生活を送るために積極的に活用してください。

●学習支援サイト

学習支援イベント、学習支援アドバイザーや大学院生による個別相談等の情報を掲載しています。

https://www.ehime-u.ac.jp/campus_life/learning-support/

●学習支援動画サイト

愛媛大学教育企画室が運営する YouTube 学習支援チャンネル「愛大学習チャンネル」等、「学び」を支援する動画教材を視聴することができます。

https://www.ehime-u.ac.jp/campus_life/learning-support-movie/

ピア・ルーム

学生ボランティアの「スチューデント・キャンパス・ボランティア（SCV）」が、履修方法だけでなく、学生生活、課外活動、就職、友人関係、進学など、皆さんの多種多様な疑問・不安・悩みの相談に対応しています。相談内容によっては、「SCV」が相談機関や教職員を紹介してくれ、適切な指導を受けることができます。

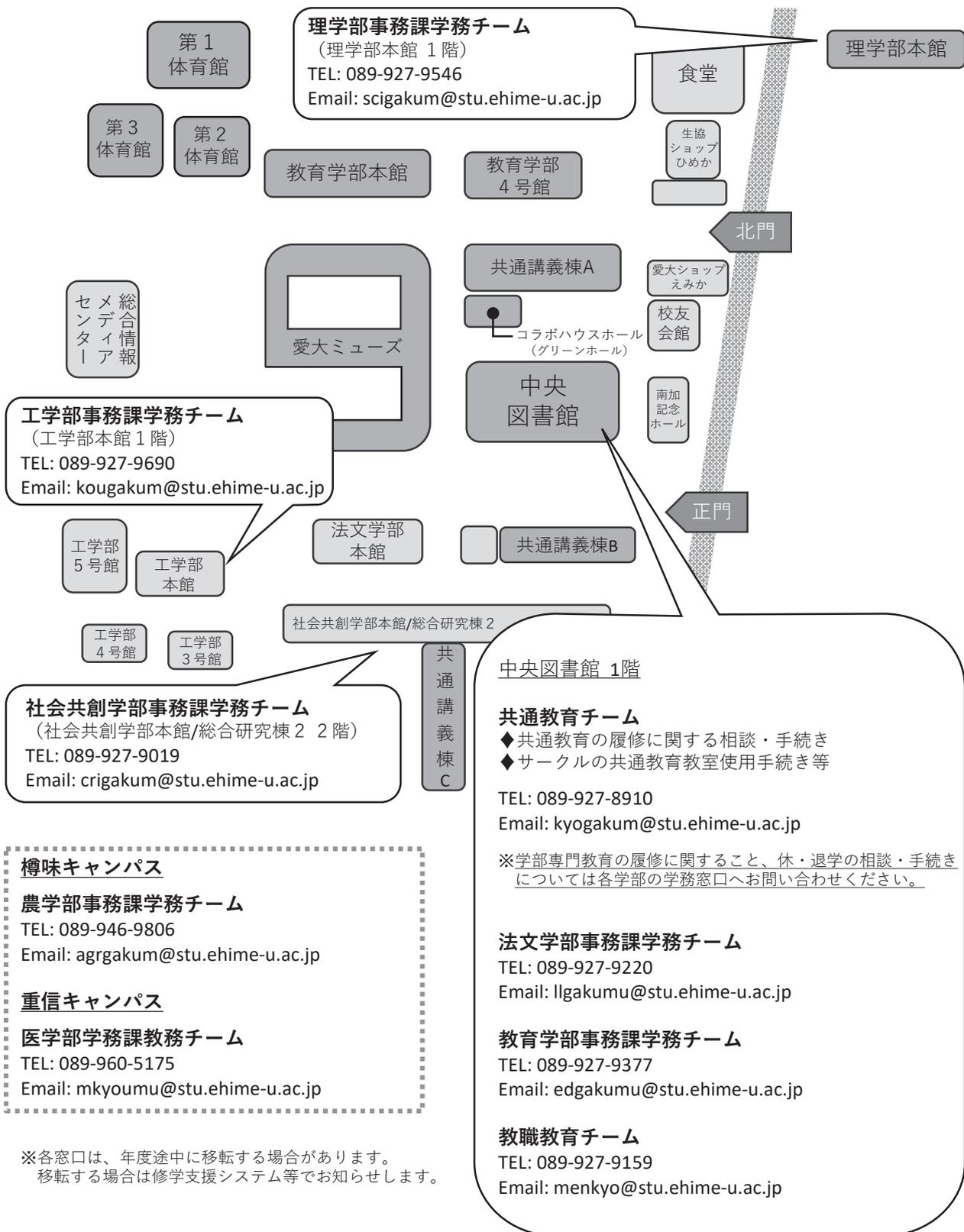
場 所：愛大ミュージズ 2 階南側（P 56 参照）

利用方法：事前に以下のメールアドレスあてに、「氏名」「所属」「学年」「相談内容（簡単で OK）」「相談希望日時」をご連絡ください。

メールアドレス：scv.ehime@gmail.com

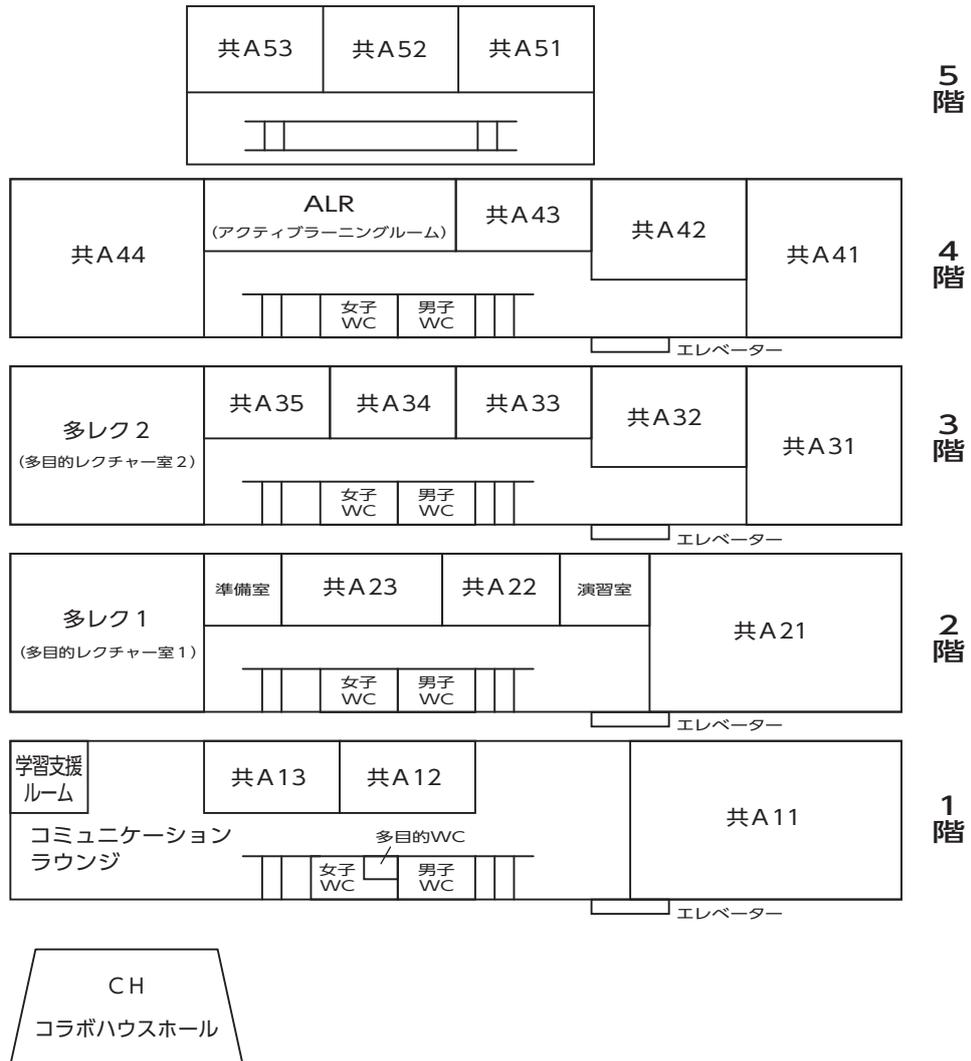
ホームページ：<http://scvinfo.csaa.ehime-u.ac.jp/>

1. 履修に関する相談窓口・講義棟案内

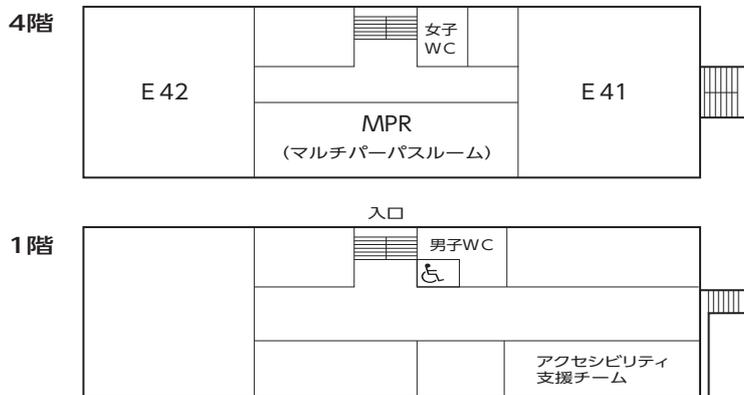


2. 教室等配置図

共通講義棟A・コラボハウスホール（グリーンホール）

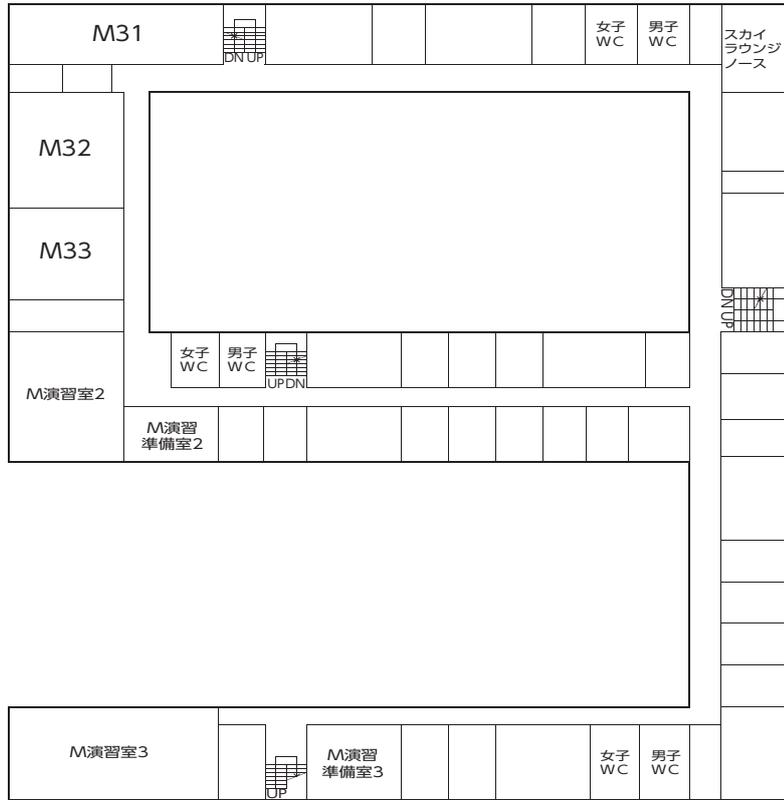


教育学部4号館

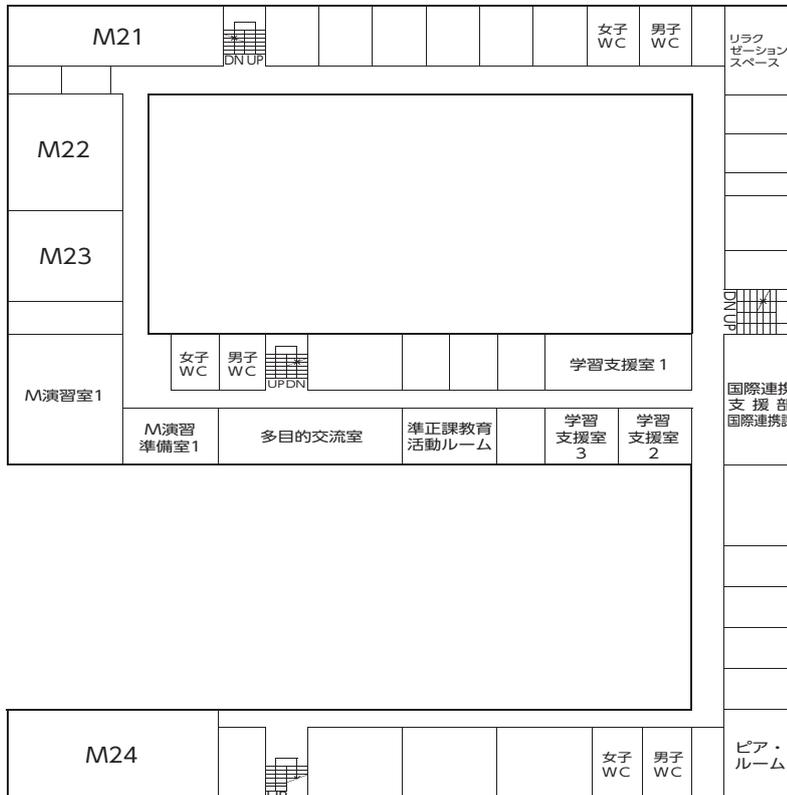


2. 教室等配置図

愛大ミュージズ 3階



愛大ミュージズ 2階



← 出入口(1階)

3. 規則一覧

愛媛大学共通教育科目規程

（平成18年7月12日）
規則 第167号

（趣旨）

第1条 愛媛大学学則（以下「学則」という。）第11条に定める愛媛大学（以下「本学」という。）の共通教育科目に関し必要な事項は、学則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（共通教育科目の実施）

第2条 本学の共通教育科目は、全学協力体制のもとに実施する。

2 共通教育科目に係る教育の企画、運営及び実施については、教育・学生支援機構共通教育ユニットがこれに当たる。

（授業科目区分）

第3条 共通教育科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基盤科目
- (2) 未来思考支援科目
- (3) 教養科目
- (4) 発展科目
- (5) 留学生対象科目

（授業科目及び単位数）

第4条 共通教育科目の授業科目及び単位数は、別に定める。

（授業科目の登録）

第5条 本学の教授、准教授及び講師（愛媛大学特任講師に関する取扱要項に基づき特任講師の名称を付与された助教を含む。）は、所定の手続により、担当可能な共通教育科目の授業科目の登録を行わなければならない。

（授業の担当）

第6条 前条の教員は、共通教育科目の授業を担当する。

2 共通教育科目の授業は、教育・学生支援機構長（以下「機構長」という。）が必要と認めるときは、所属する部局等の長の同意を得て、本学の助教も担当又は分担できるものとする。

（その他）

第7条 この規程に定めるもののほか、共通教育科目に関し必要な事項は、機構長が定める。

附 則

この規程は、平成18年7月12日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

共通教育科目の履修等に関する申合せ

（平成18年10月27日）
共通教育センター会議決定

（履修科目の手続）

第1 学生は、履修しようとする授業科目を、所定の手続により登録しなければならない。

（重複履修の取扱い）

第2 授業科目の重複履修については、別に定める。

（学業成績判定）

第3 学業成績の判定は、愛媛大学学業成績判定に関する規程に定めるところによる。

（追試験の実施）

第4 次に掲げる理由により試験を受験できなかった者から願い出があった場合には、追試験を実施することができる。

- (1) 愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ第2に定める理由
- (2) その他やむを得ない理由であると認められるもの

（試験に際し不正行為があった場合の取り扱い）

第5 試験に際し不正行為があった場合は、当該学生が所属する学部が共通教育チームの協力を得て対応するものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第6 学則第17条の規定により学生が本学に入学する前に他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は外国の短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。

（他の大学等における授業科目の履修等）

第7 学則第24条又は第25条により他の大学若しくは短期大学（外国の大学又は外国の短期大学を含む。）又は大学以外の教育施設等において履修した授業科目に係る共通教育科目に相当する単位等の認定については、当該学生の所属する学部の教授会が行う。

（聴講生及び科目等履修生の取扱い）

第8 聴講生及び科目等履修生の入学及び在学期間の更新の願い出は、教育・学生支援機構共通教育ユニット委員会で審議する。

（集中講義の実施期間）

第9 集中講義は、原則として授業期間以外の期間（長期休業中等）に実施するものとする。

附 則

この申合せは、平成18年10月27日から施行する。

附 則

この申合せは、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成28年9月12日から施行する。

附 則

この申合せは、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和7年4月1日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に関する規程

平成16年4月1日
規則 第153号

(趣旨)

第1条 この規程は、愛媛大学学則(以下「学則」という。)第20条及び愛媛大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)第23条に定める学業成績の判定に関して、必要な事項を定める。

(学業成績の判定)

第2条 学業成績は、試験及び平素の成績を総合して判定する。
2 学業成績の判定に際しては、あらかじめシラバス等で評価基準を学生に周知し、明示した基準に基づき厳正に判定する。
3 各学部、各研究科規則又は各学環規則の定める履修科目の届出がない者は、判定の対象としない。

(試験)

第3条 試験は、筆記、レポート、口述、実演・実技試験等により実施する。
2 試験方法及び日時は、その授業科目の担当教員の定めるところによる。

(平素の成績)

第4条 平素の成績は、研究報告、随時行う小考査、学習状況等によって判定する。

(出席時間数の取扱い)

第5条 各授業科目につき、その開講時数の3分の2以上出席していない者については、その授業科目の学業成績は、判定しない。ただし、別に定める申合せ等で正当な理由による授業欠席として認めた場合は、この限りでない。

(評点)

第6条 学業成績評点は、各授業科目につき100点をもって満点とする。

(単位修得の評点)

第7条 60点以上の学業成績評点を得た授業科目については、所定の単位を修得したものとす。

(学業成績判定の評語)

第8条 学業成績判定の評語は、原則として秀、優、良、可及び不可とし、その区分は、次のとおりとする。

評語	評点の範囲	基準
秀	90点以上 100点まで	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している。
優	80点以上 90点未満	授業科目の到達目標を高い水準で達成している。
良	70点以上 80点未満	授業科目の到達目標を標準的な水準で達成している。
可	60点以上 70点未満	授業科目の到達目標を最低限の水準で達成している。
不可	60点未満	授業科目の到達目標を達成していない。

(不正行為の取扱い)

第9条 試験に際し不正行為を行った者については、当該学期の全学業成績は、判定しない。

2 前項の不正行為を行った者は、愛媛大学学生懲戒処分規程第3条第5号及び第5条の規定に基づき、処分する。

(授業料未納により除籍された者の単位取扱い)

第10条 学則第45条第3号及び大学院学則第44条第3号の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は認定しない。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
2 平成17年度以前に入学した者に係る学業成績判定の評語については、改正後の第8条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年7月6日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月25日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

愛媛大学学業成績判定に係る 授業欠席の取扱いに関する申合せ

平成20年11月5日
教育・学生支援機構
教育学生支援会議決定

(趣旨)

第1条 この申合せは、愛媛大学学業成績判定に関する規程(以下「規程」という。)第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(授業欠席の取扱い)

第2条 学生が次の各号に掲げる理由により授業を欠席した場合は、これを出席には取り扱わないが、正当な理由による授業欠席として認めることができる。

- 1) 学校保健安全法施行規則に定める感染症に感染した場合
- 2) 学生の親族(別表に掲げる親族に限る。)が死亡した場合
- 3) 自然災害に遭い授業欠席がやむを得ないと認められる場合
- 4) 裁判員制度に基づき、裁判員候補者として選任手続期日に裁判所へ出頭する場合若しくは裁判員(補充裁判員を含む。)として職務に従事する場合又は検察審査会の審査員若しくは補充員として職務に従事する場合
- 5) 教育実習(応用実習及び実習校との打合せを含む。)に参加した場合
- 6) 博物館実習(実習施設との打合せを含む。)に参加した場合
- 7) 介護等体験(受入先との打合せを含む。)に参加した場合
- 8) 授業として行うインターンシップ(受入先との打合せを含む。)に参加した場合
- 9) 本学が大学として開催に関わる大会(中・四国国立大学連合演奏会、中・四国国立大学連合美術展覧会、四国地区大学総合体育大会等)に参加した場合
- 10) 本学が要請した用務に参加した場合
- 11) 当該学部、研究科、学環又は教育・学生支援機構が認めた場合

2 前項の取扱いによる授業欠席は、第1号から第4号までの場合を除き、各授業科目につき、開講時数に対応する授業の回数が15回の場合は2回を限度とし、15回以外の場合は開講時数に15分の2を乗じて得られた時間数に対応する授業の回数を限度とする。

(授業欠席時間数の取扱い)

第3条 各授業科目の開講時数に対する出席時間数の割合の算定に当たっては、第2の取扱いによる授業欠席時間数は、開講時数に含めない。

(授業欠席の手続き)

第4条 この取扱いを希望する学生は、教育・学生支援機構が別に定める方法により正当な理由による授業欠席として、授業担当教員へ事前に申し出るものとする。ただし、やむを得ない理由により事後に申し出る場合であっても、当該授業科目の開講日の翌日から起算して5日間を越えないものとする。

2 前項の授業欠席申出を受領した授業担当教員は、当該学生に対し、適切な学習支援を行うものとする。(適用除外)

第5条 第2から第4までの規定にかかわらず、実験等を行う授業科目、グループワーク等を要する特殊な形態の授業科目又は集中講義形式の授業科目については、本取扱いを適用しないことがある。

附 則

- 1 この申合せは、平成21年4月1日から施行する。
- 2 愛媛大学学業成績判定に関する規程第5条ただし書きに係る正当な理由による授業欠席の取扱いに関する申合せ(平成18年2月22日教育・学生支援機構管理運営委員会決定)は、廃止する。

附 則

この申合せは、平成21年10月28日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この申合せは、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成23年7月6日から施行する。

附 則

この申合せは、平成28年7月6日から施行する。

附 則

この申合せは、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和5年5月10日から施行する。

附 則

この申合せは、令和6年7月9日から施行する。

別表(第2の第1項第2号関係 忌引き日数表)

親族	日数	摘要
配偶者	7日	
父母	7日	
子	5日	
祖父母	3日(学生が代襲相続し、かつ祭具等の継承を受ける場合にあっては7日)	
孫	1日	
兄弟姉妹	3日	

(備考)

- 1 日数は最長とし、かつ連続する日とする。
- 2 葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えることができる。

愛媛大学学生懲戒処分規程（抜粋）

（平成21年1月14日）
規則 第5号

（趣旨）

第1条 この規程は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）第51条及び愛媛大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第56条に規定する懲戒に関し、必要な事項を定める。

（懲戒の対象）

第3条 懲戒の対象となり得る行為は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 刑罰法規に抵触する行為
- (2) 人権を侵害する行為
- (3) 交通法規に違反する行為
- (4) 情報倫理に反する行為
- (5) 試験等における不正行為
- (6) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為
- (7) 本学の規則に違反する行為
- (8) 本学の教育研究等の業務を妨害する行為
- (9) その他、学生の本分に反すると認められる行為

（懲戒処分の種類及び内容）

第4条 懲戒処分の種類及び内容は、次のとおりとする。

- (1) 退学 学生としての身分を喪失させること。
- (2) 停学 有期停学又は無期停学とし、登学を禁じること。
- (3) 戒告又は訓告 文書による注意を与え、自省を促し今後を戒めること。

（懲戒処分の量定）

第5条 懲戒処分の量定は、別表に定める懲戒処分の標準例に準拠する。ただし、過去に類似の行為を行ったことを理由として処分を受けたことがある場合、または処分の対象となり得る複数の行為を行っていた場合等においては、この限りではない。

別表（第5条関係）

懲戒処分の標準例

懲戒の対象となる行為	事 例	懲戒処分の基準
(1) 刑罰法規に抵触する行為	殺人、強盗、強姦、放火等の凶悪犯罪	退学
	傷害、窃盗、住居・建造物侵入、わいせつ行為、薬物（覚醒剤等）の所持等	退学以下
(2) 人権を侵害する行為	セクシュアル・ハラスメント等	退学以下
	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等に起因する重大な人身事故及び物損事故	退学
(3) 交通法規に違反する行為	飲酒運転、無免許運転、大幅な制限速度違反等	退学以下
	交通違反に起因する人身事故及び物損事故、無車検運行等	停学以下
(4) 情報倫理に反する行為	コンピュータ、ネットワークへの不正アクセス、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持込、情報漏洩等	退学以下
	代理（替え玉）受験、集団不正行為等悪質性の高い不正行為	退学以下
(5) 試験等における不正行為	カンニング	停学（無期停学）
	論文等の作成における学問的倫理に反する行為	退学以下
(6) 論文等の作成における学問的倫理に反する行為	論文盗用、著作権の侵害等	退学以下
(7) 本学の規則に違反する行為	学則、大学院学則、学生準則等に違反する行為	退学以下
(8) 本学の教育研究等の業務を妨害する行為	授業妨害、研究妨害等	退学以下
(9) その他、学生の本分に反する行為	上記以外の行為	退学以下

学業成績判定に関する学生からの申立てについて（ガイドライン）

（平成18年2月22日）
教育・学生支援機構
管理運営委員会決定

（改正：平成26年2月4日）

（改正：令和3年12月21日）

（改正：令和7年4月1日）

このガイドラインは、学業成績判定に関する取扱要項第8に規定する学生からの申立てに係る統一的な取り扱いを示す。

- 1 学生は、学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じた場合は、事務担当課を通じて、授業科目を開講する学部長等に対して、成績確認申立書（別紙様式）（以下「申立書」という。）に必要な事項を明記し、申立てることができる。
- 2 学生からの申立てを受け付ける期間は、学業成績を通知した後、原則として1週間とする。
- 3 学部長等は、統括教育コーディネーター等に調査を命ずる。
- 4 統括教育コーディネーター等は、所掌する委員会等において、当該学生及び授業担当教員から意見を聴取するなど調査を行い、その結果を、学部長等に報告する。
- 5 学部長等は、調査結果に基づき、当該授業担当教員に対して、履修成績に対する異議申立てへの回答内容を通知する。
- 6 学部長等は、委員会等における調査結果を踏まえ、事務担当課を通じて、当該学生に対して、授業科目の成績判定に対する異議申立てへの回答を行う。
- 7 申立書は、事務担当課において回答日以降5年間保存した後、廃棄する。
- 8 このガイドラインに定めるもののほか、各学部等において必要な事項については、それぞれ別に定めることができる。
- 9 このガイドラインは、大学院の授業科目にも準用する。
- 10 このガイドラインは、令和3年度後学期開講の授業科目から適用する。

学業成績判定に関する申立てについて

- 学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じ確認する必要がある場合は、成績確認申立書により、申立てることができます。なお、受付期間は、学業成績を通知した日を含めて1週間です。
- 申立てを行う場合は、何故成績評価に納得できないのか、その具体的な理由を明確に記入してください。
 具体的とは、「この問題に関して、このように解答したが・・・」とか、「このテーマに関して、このような判断で記述したが・・・」というように、明確な書き方をしてください。
- 成績確認申立書の提出先は次のとおりです。
 なお、帰省等の理由により、事務担当課等に直接申立書を提出することができない場合は、修学支援システムトップページ (<http://info.chime-u.ac.jp/syugaku/stu/>) より申立書をダウンロードし、以下のメールアドレス宛に添付ファイルにより提出することができます。
 (注) メールタイトル(件名)は「成績確認申立書の送付」とし、受理メールの返信を確認してください。なお、メール送信後、土・日・祝日を除き2日を経過しても受理メールの返信がない場合は、電話による確認をしてください。

区 分	学部等名	事務担当課名 (電話、メールアドレス)
共通教育科目	全学部	教育学生支援部教育支援課 共通教育チーム (089-927-8910、kyogakum@stu.chime-u.ac.jp)
学部科目 大学院科目	法文学部 (昼・夜間主コース) 人文社会科学研究科法 文学専攻	法文学部事務課学務チーム (089-927-9221、llgakumu@stu.chime-u.ac.jp)
	教育学部 教育学研究科	教育学部事務課学務チーム (089-927-9377、edgakumu@stu.chime-u.ac.jp)
	社会共創学部 人文社会科学研究科 産業システム創成専攻	社会共創学部事務課学務チーム (089-927-9019、crigakum@stu.chime-u.ac.jp)
	理学部 スーパーサイエンス特別コース	理学部事務課学務チーム (089-927-9546、scigakum@stu.chime-u.ac.jp)
	工学部	工学部事務課学務チーム (089-927-9690、kougakum@stu.chime-u.ac.jp)
	理工学研究科	理学部事務課学務チーム (理学系) (089-927-9546、scigakum@stu.chime-u.ac.jp) 工学部事務課学務チーム (工学系) (089-927-9690、kougakum@stu.chime-u.ac.jp)
	地域レジリエンス学環	教育学生支援部教育支援課共通教育チーム (089-927-9177、resilience@stu.chime-u.ac.jp)
	医学部	医学部学務課教務チーム (089-960-5175、mkyoumu@stu.chime-u.ac.jp)
	医学系研究科 医農融合公衆衛生学環	医学部学務課大学院チーム (089-960-5868、mgradu@stu.chime-u.ac.jp)
	農学部 農学研究科 医農融合公衆衛生学環	農学部事務課学務チーム (089-946-9806、agrgakum@stu.chime-u.ac.jp)
連合農学研究科	農学部事務課連合農学研究科チーム (089-946-9910、rendai@stu.chime-u.ac.jp)	

成績確認申立書

年 月 日

学部 研究科	学科・課程 コース 専攻 学環	学生証番号	ふりがな 氏名
連絡先	電話番号： メールアドレス：	携帯電話：	
年度	学期	区分	開講学部等：共通教育、学部、 大学院、学環（該当を丸で囲む）
時間割番号	授業科目名		授業担当教員
成績確認申立の内容（理由を明確に記入すること。）			

(以下は記入する必要ありません。)

受付	月 日	事務担当課名	受付者氏名
----	-----	--------	-------

授業担当教員記入欄
措置日： 月 日
◇ 成績評価の変更（該当に <input checked="" type="checkbox"/> を付してください。） □ 有 □ 無
◇ 授業担当教員所見
授業担当教員氏名

※皆さんから取得した個人情報は、学業成績判定に関する申立てについての連絡に利用します。
なお、取得した個人情報は、前記の目的以外に利用することはありません。

回答日	月 日	学部長等氏名	調査教員氏名
-----	-----	--------	--------

2025(令和7)年度 共通教育履修案内

愛媛大学教育・学生支援機構
(教育学生支援部教育支援課共通教育チーム)
〒790-8577 松山市文京町3番

学生証番号

--	--	--	--	--	--	--	--